南部拠点地区遺跡群 No.3

前橋市南部拠点東地区土地区画整理事業
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 No.3

2010.3

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

南部拠点地区遺跡群 No.3

前橋市南部拠点東地区土地区画整理事業
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 No.3

２０１０．３

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

調査区を南から望む。中央の道路は前橋玉村線、奥に北関東自動車道路が見え、調査区は手前が11区、奥の人家の手前に10区が見える。

浅間Ｂテフラ下の水田跡（９区全景）

巻首図版２

浅間Ｂテフラ下の水田跡（10区Ａ全景）

浅間Ｂテフラ下の水田跡（10区Ｂ・Ｃ全景）

浅間Ｂテフラ下の水田跡（10区Ｄ全景）

浅間Ｂテフラ下の水田跡（11区Ａ全景）

浅間Ｂテフラ下の水田跡（11区Ｂ全景）

浅間Ｂテフラ下の水田跡（11区Ｃ全景）

巻首図版４

浅間Ｂテフラ下の落込み範囲（12区南全景）

浅間Ｃテフラ下の調査状態（13区11トレンチ）

浅間Ｃテフラ下の調査状態（13区12トレンチ）

浅間Ｃテフラ下の調査状態（13区13トレンチ）

浅間Ｂテフラ下の水田跡（14区全景）

はじめに

前橋市は関東平野の北西部に位置し、名山赤城山を背に利根川や広瀬川が市街地を貫流する、四季折々の風情にあふれる県都です。市域は豊かな自然環境に恵まれ、２万年前の旧石器時代から人々が生活を始めました。そのため市内のいたる所から、人々の息吹を感ずることのできる遺跡や史跡、多くの歴史遺産が存在します。

古代において前橋の地は、800余りの古墳が存在していたように、上毛野の国の中心地として栄え、また、続く律令時代になってからは総社・元総社地区に山王廃寺、上野国分僧寺、上野国分尼寺、上野国府など重要な施設が次々に造られました。

中世になると、戦国武将の長尾氏、上杉氏、武田氏、北条氏が鎬をけずった地として知られ、近世においては、譜代大名の酒井氏、松平氏が居城した関東四名城の一つに数えられる厩橋城が築かれました。

やがて近代になると、生糸の一大生産地であり、横浜港から前橋シルクの名前で遠く海外に輸出され、日本の発展の一翼を担うなど、まさに、歴史性豊かな街です。

南部拠点地区遺跡群№３は、市の南東部に位置し、前橋南インターチェンジ一帯の土地区画整理事業に伴う道路建設に先立つ事前発掘調査です。調査の結果、平安時代の天仁元年（1108年）の浅間山噴火に伴う軽石に覆われた水田跡が発見されました。本水田跡は、高崎市日高遺跡に代表される日高条里との関連が考えられ、前橋・高崎大地に広く展開する貴重な条里制遺構です。

最後になりましたが、この調査事業を円滑に進められたのは、関係機関や各方面のご配慮の結果といえます。また、炎天下や湧水の中で直接調査に携わってくださった担当者・作業員のみなさんに厚くお礼申しあげます。

本報告書が斯学の発展に少しでも寄与できれば幸いに存じます。

平成22年３月

前橋市埋蔵文化財発掘調査団
団　長　戸　塚　良　明

例　　言

1　本報告書は、前橋市南部拠点東地区土地区画整理事業に伴って実施した、南部拠点地区遺跡群№３の発掘調査報告書である。

2　遺跡の所在地　群馬県前橋市鶴光路町112-2ほか

3　調査は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団（団長　戸塚良明）の指導のもとに委託者　前橋市南部拠点東地区土地区画整理組合（理事長　持田頼男）の委託を受け、スナガ環境測設株式会社（代表取締役　須永眞弘）が実施した。

調査担当者　神宮　聡・須藤健夫・塩坪丈夫・岩丸展久（前橋市埋蔵文化財発掘調査団）

荻野博巳・金子正人（スナガ環境測設株式会社）

4　発掘調査期間　平成21年７月21日～平成21年12月９日

整理期間　平成21年12月10日～平成22年３月19日

5　調査面積　10,140㎡（１面Ｂテフラ下水田跡調査6,940㎡、２面Ｃテフラ下水田跡検出３ｍ幅トレンチ調査2,460㎡、12区・14区補足調査２ヵ所740㎡）

6　調査にかかわる図面・写真・出土遺物等は、前橋市教育委員会が保管する。

7　調査・測量計画を須永眞弘（測量士第52614号）、調査指導・安全管理を金子正人、基準点測量を権田友寿・黒田、遺構記録作図、佐々木、星野陽子、矢島、石川、内山、高林、遺構調査・遺構遺物写真を荻野、作業事務を須永豊が担当した。

8　本書は、調査団指導のもと、スナガ環境測設㈱が作成に当たり、原稿執筆…Ｉについては神宮、その他は荻野が担当した。また、編集・校正を須永・金子、図書の編集・版下作成・トレース・遺物実測他は荻野・大谷・佐々木・星野、内業事務を須永が担当した。

9　発掘調査に参加した方々（敬称略）

長澤俊男　松井道男　諸田伊勢寿　中野光雄　北爪一郎　菊川毅　黒田雄司　佐々木智恵子　星野陽子　石川さわ子　内山恵美子　品川浪江　高林操　矢島義秋　中村昌博　星野三恵子　下田弘　武井知司　吉田宣政　菊川勝　岩崎寿子　神沢八起　大谷元夫

凡　　例

1　遺跡の略称は、（21Ｇ65）である。

2　遺構名の略称　溝跡…Ｗ、土坑…Ｄ、ピット…Ｐ、実測図中の記号Ｓ…石

3　実測図の縮尺は、次のとおりである。

遺構平面図（1/100・1/400）、遺構断面図（1/60）、遺物実測図は1/3・1/5を使用した。

4　挿図に国土地理院発行の２万５千分の１「前橋」を使用した。

5　本文中の計測値については［　］検出値、現存値、（　）推定値を表す。その他はその都度表した。

また、トレはトレンチを表し、As-B 水田平面図中の畦畔番号には、（　）を付けて表した。

6　土層断面の土色名及び土器類の色調名は、『新版標準土色帖』（農林省農林水産技術会議事務局監修　財団法人日本色彩研究所　色票監修）による。

7　土層注記及び本文中には、1783年降下浅間山起因のテフラの略称を As-A、1108年降下浅間山起因のテフラの略称を As-B、６世紀中葉榛名山起因のテフラの略称を Hr-FP、６世紀初頭榛名山起因のテフラの略称を Hr-FA、４世紀初頭降下浅間山起因のテフラの略称を As-C として使用した。

8　土層注記中の粘は粘性、締は締まりとし、強・中・弱・なしの４段階に区分した。

目　　次

はじめに

Ⅰ　調査に至る経緯 …… 1

Ⅱ　遺跡の位置と歴史的環境 …… 1

1　遺跡の立地 …… 1

2　歴史的環境 …… 1

Ⅲ　調査の方針と経過 …… 5

1　調査方針 …… 5

2　調査経過 …… 5

Ⅳ　層　　序 …… 6

Ⅴ　調査の概要 …… 7

Ⅵ　検出された遺構と遺物 …… 7

1　古墳時代、平安時代、中・近世の調査 …… 7

⑴　9区1面、9区2面1トレンチ …… 7

⑵　10区1面A・B・C・D、10区2面2・3・4トレンチ …… 10

⑶　11区1面A・B・C、11区2面5・6・7トレンチ …… 17

⑷　12区1面、12区2面8・9トレンチ …… 22

⑸　13区2面11・12・13トレンチ …… 25

⑹　14区1面、14区2面14トレンチ …… 25

Ⅶ　ま　と　め …… 30

1　浅間Bテフラ下の水田と条里制について …… 30

2　畦畔上の石について …… 31

挿　　図

第１図　周辺遺跡図……３
第２図　遺跡位置図（現形前橋市都市計画図）……４
第３図　遺跡位置図（昭和43年調整前橋市都市計画図）……４
第４図　基本土層断面図……６
第５図　９区１面、２面１トレンチ実測図……９
第６図　10区Ａ１面、２面２トレンチ実測図……14
第７図　10区Ｂ・Ｃ１面、２面３・４トレンチ実測図…15
第８図　10区Ｄ１面実測図……16
第９図　11区Ａ１面、２面５トレンチ実測図……19
第10図　11区Ｂ１面、２面６トレンチ実測図……20
第11図　11区Ｃ１面、２面７トレンチ実測図……21
第12図　12区、１面８トレンチ、２面８・９トレンチ実測図……23
第13図　12区１面９トレンチ実測図……24
第14図　13区２面11～13トレンチ、14区１面、２面14トレンチ実測図……27
第15図　９区～12区、14区１・２面出土遺物……29
第16図　水田と条里制地割図……32

表

第１表　周辺遺跡概要一覧表……２
第２～６表　９区１面、２面１トレンチ……８
第７～10表　10区１面Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ、２面２・４トレンチ……10～13
第11～15表　11区１面Ａ・Ｂ・Ｃ、２面５トレンチ……17・18
第16～18表　12区１面、12区１面８・９トレンチ……22
第19～25表　12区２面９トレンチ、13区２面13トレンチ、14区１面……25・26
第26表　出土遺物観察表……28

写真図版

巻首図版１　南部拠点地区遺跡群№３調査区を南から望む、９区全景
巻首図版２　10区Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ全景
巻首図版３　11区Ａ・Ｂ・Ｃ全景
巻首図版４　12区南、13区11・12・13トレンチ、14区全景
図版１　調査前全景、９区１面Ｂ水田全景（空撮）、Ｂ水田、畦畔上の石、馬の足跡列、Ｗ－１～３、焼夷弾跡、大畦畔全景
図版２　９区２面Ｗ－１全景、９区２面１トレンチ全景、10区Ａ１面Ｂ水田全景（空撮）、Ｂ水田、大畦畔、畦畔上の石全景
図版３　10区Ａ１面Ｗ－４、５全景、10区Ａ２面２トレンチＰ－５～10、10区Ａ２面２トレンチ全景、10区Ｂ１面Ｂ水田、Ｗ－６～８全景、10区Ｂ２面３トレンチ全景、10区Ｂ・Ｃ１面Ｂ水田全景（空撮）
図版４　10区Ｃ１面Ｂ水田、大畦畔、大畦畔上の石、Ｗ－14、ピット、２面４トレンチ、10区Ｄ１面Ｂ水田全景（空撮）
図版５　10区Ｄ１面Ｂ水田、Ｗ－18、19、大畦畔、大畦畔上の石、水口全景、11区Ａ１面Ｂ水田全景（空撮）、11区Ａ１面Ｗ－１、畦畔、11区Ａ２面５トレンチ全景
図版６　11区Ａ２面５トレンチＷ－11、11区Ｂ１面カクラン状況、11区Ｂ１面Ｂ水田全景（空撮）、Ｂ水田、Ｗ－２、大畦畔、水口№1、Ｗ－２～５全景
図版７　11区Ｂ１面Ｗ－６、11区Ｂ２面６トレンチ、11区Ｃ１面Ｂ水田全景（空撮）、Ｂ水田、大畦畔、11区Ｃ２面７トレンチ全景
図版８　12区１面全景（空撮）、12区１面全景、凹凸状況、Ｗ－２、３、谷地状の落ち込み、12区１面８トレンチ全景
図版９　12区２面８トレンチ、12区２面９トレンチ落ち込みセクション、12区２面９トレンチ、Ｄ－１、２、Ｐ－４、６、12区９トレンチ、Ｄ－１遺物出土状況、Ｄ－２遺物出土状況、Ｐ－４遺物出土状況、13区２面11トレンチ全景
図版10　13区２面12トレンチ、２面13トレンチ、14区１面Ｂ水田全景（空撮）、Ｂ水田、Ｗ－２、３、14区２面14トレンチ全景
図版11　深掘りセクション全景、作業風景、調査区埋め戻し状況、９区、10区出土遺物
図版12　10区～12区、14区出土遺物

Ⅰ　調査に至る経緯

本発掘調査は、前橋市南部拠点東地区土地区画整理事業に伴い実施された。

平成21年６月３日付けで前橋市南部拠点地区土地区画整理組合（仮称）設立準備委員会　代表　持田頼男（平成21年８月11日付けで前橋市南部拠点東地区土地区画整理組合に名称変更。以下「組合」という。）より埋蔵文化財発掘調査の依頼が前橋市教育委員会に提出された。前橋市教育委員会ではこれを受け、内部組織である前橋市埋蔵文化財発掘調査団　団長　戸塚良明（以下「調査団」という。）に対し発掘調査の実施について協議を行った。しかし、調査団では既に直営による発掘調査を市内数ヵ所で実施しており、調査団直営による調査の実施が困難であるため、民間調査組織に業務を委託したいとの回答をした。民間調査組織の導入については、組合の合意も得られ、平成21年７月14日付けで組合と調査団との間で発掘調査業務契約を締結し、その後、７月21日付けで調査団と民間調査組織であるスナガ環境測設株式会社　代表取締役　須永眞弘との間で発掘調査業務契約を締結し、発掘調査を開始した。なお、遺跡名称「南部拠点地区遺跡群№３」（市遺跡コード：21Ｇ65）の「南部拠点地区」は区画整理事業名を採用し、数字の「№３」は過年度に実施した調査と区別するために付したものである。

Ⅱ　遺跡の位置と歴史的環境

１　遺跡の立地

本遺跡は、前橋市役所の南東約７㎞に位置し、調査区は鶴光路町と新堀町にまたがる。北1.7㎞には県道高崎駒形線が東西に走り、これと交差する県道前橋玉村線が東側を南北に走り、すぐ北側には北関東自動車道、東側には前橋玉村線バイパスが位置する。遺跡の周辺は、圃場整備により整然と区画された水田地帯が広がり、北には鶴光路町、南には新堀町、東には下阿内町の住宅街が形成されている。近年、前橋市の人口増加に伴うドーナツ化現象により、周辺地域は団地ができ宅地化が進み、大型店舗や工業団地の建設が相継いでいる。

前橋市は地形的に区分すると、北東部の赤城火山斜面、南西部の洪積台地（前橋台地）、この両者に挟まれる形で位置する沖積低地（広瀬川低地帯）、および現利根川氾濫原の四地域からなる。本遺跡は、そのうちの前橋台地上にある。前橋台地は、前橋市街地を北端に南方向一帯に広がる沖積平野で、前橋泥流堆積物層が形成された洪積世後期の約24,000年前から利根川に浸食されずに沖積化が進んだ地域で、広瀬川低地帯より一段高い洪積層である。多少の起伏は見られるものの概ね平坦な土地である。この台地上には利根川をはじめいくつかの中小河川が流れ、小規模ながら氾濫原を形成している。本遺跡の東には端気川が南流し、その東には藤川が流れる。端気川は、広瀬川から分かれ９㎞ほど南下し、南部農耕地域の重要な用水である。

２　歴史的環境

本遺跡が所在する前橋南部地域では、近年北関東自動車道をはじめ多くの開発事業が実施され、それに伴う埋蔵文化財発掘調査も多数行われている。調査の結果、縄文時代から近世のものまで様々な遺構が検出されているが、旧石器時代の遺跡は発見されていない。

縄文時代には、草創期の微隆起線文土器や有舌尖頭器等が出土した徳丸仲田遺跡（48）、縄文中期後半の遺物が出土した村中遺跡（県事業団調査）（30）などがあり、生活の痕跡が希薄である。弥生時代に入って

もあまり変わらず、櫛島川端遺跡（県事業団調査）（10）で後期の竪穴住居跡が確認されている程度である。

古墳時代になると、遺跡数は増大する。広瀬川右岸の自然堤防上に位置する広瀬・朝倉古墳群には古墳時代の前期から後期にわたる大小150基ほどの古墳が存在する。前期では、古墳時代初頭期の前方後方墳である前橋八幡山古墳（４）、前方後円墳の前橋天神山古墳（５）があり、地域の盟主の墓と考えられている。集落も台地上の各地に営まれるようになる。後閑団地遺跡（７）、櫛島川端遺跡（市調査団調査）（９）などがある。生産址も広範囲に行われるようになる。４世紀初頭降下と考えられるAs-C軽石に埋没した水田や、As-C軽石を耕作土に含む水田が西田遺跡（県事業団調査）（37）、村中遺跡（30）、徳丸仲田遺跡（48）、下阿内前田遺跡（45）などから検出されている。

後期の古墳としては、６世紀前半の帆立貝式古墳である亀塚山古墳、６世紀後半の前方後円墳で金銅製冠を出土した金冠塚古墳などがある。

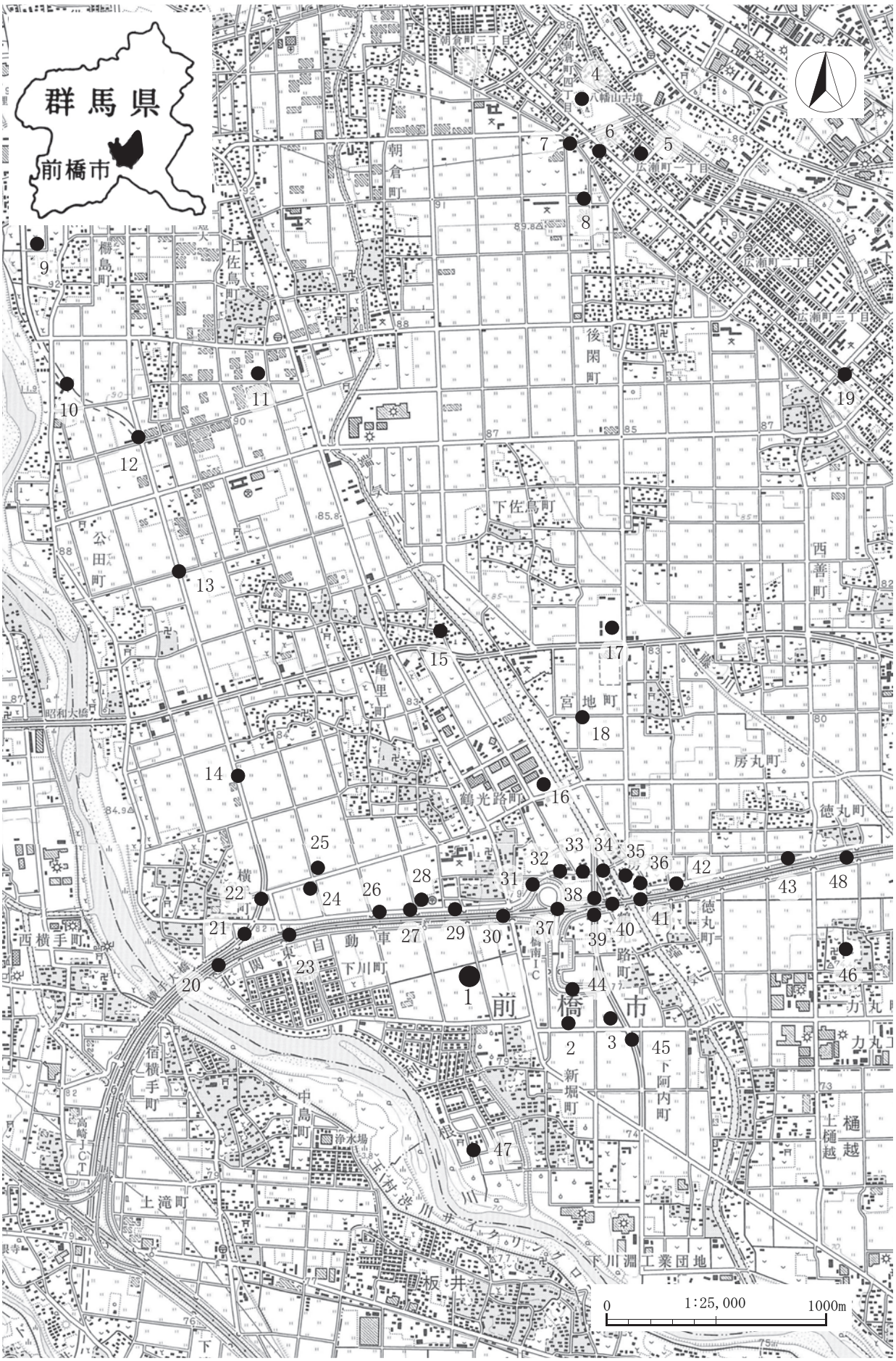
集落は後期に新しく開始される遺跡が多く後閑II遺跡（８）、西田遺跡（37）などがある。生産址は、６世紀初頭降下と考えられるHr-FAで埋没した水田跡や６世紀中葉降下と考えられるHr-FPで埋没した水田跡が各地で検出されてをり櫛島川端遺跡（10）、横手湯田遺跡（県事業団調査）（23）、横手宮田遺跡（22）などがある。奈良・平安時代では、本遺跡周辺の低地部分のほとんどの遺跡で平安時代後期の1108年に降下したAs-B軽石で埋没した水田跡が検出されている。南部拠点地区遺跡群№１・２（２、３）、宮地中田遺跡（18）、鶴光路練引遺跡（28）、徳丸仲田遺跡（48）、横手湯田遺跡（23）、横手湯田II・IV・VI遺跡（26、29、27）、西田遺跡（市調査団調査）（39）、西田II遺跡（32）、村中遺跡（30）などがある。集落遺跡は、後閑団地遺跡（７）、後閑II遺跡（８）、西田遺跡（37）、西田II遺跡（32）、などから検出されている。

中世では、県教育委員会が実施した城郭分布調査によって、前橋南部地域に環濠遺構群の存在が多数確認されている。力丸城（46）、宿阿内古城（16）、宿阿内城（15）、新堀城（47）などがある。

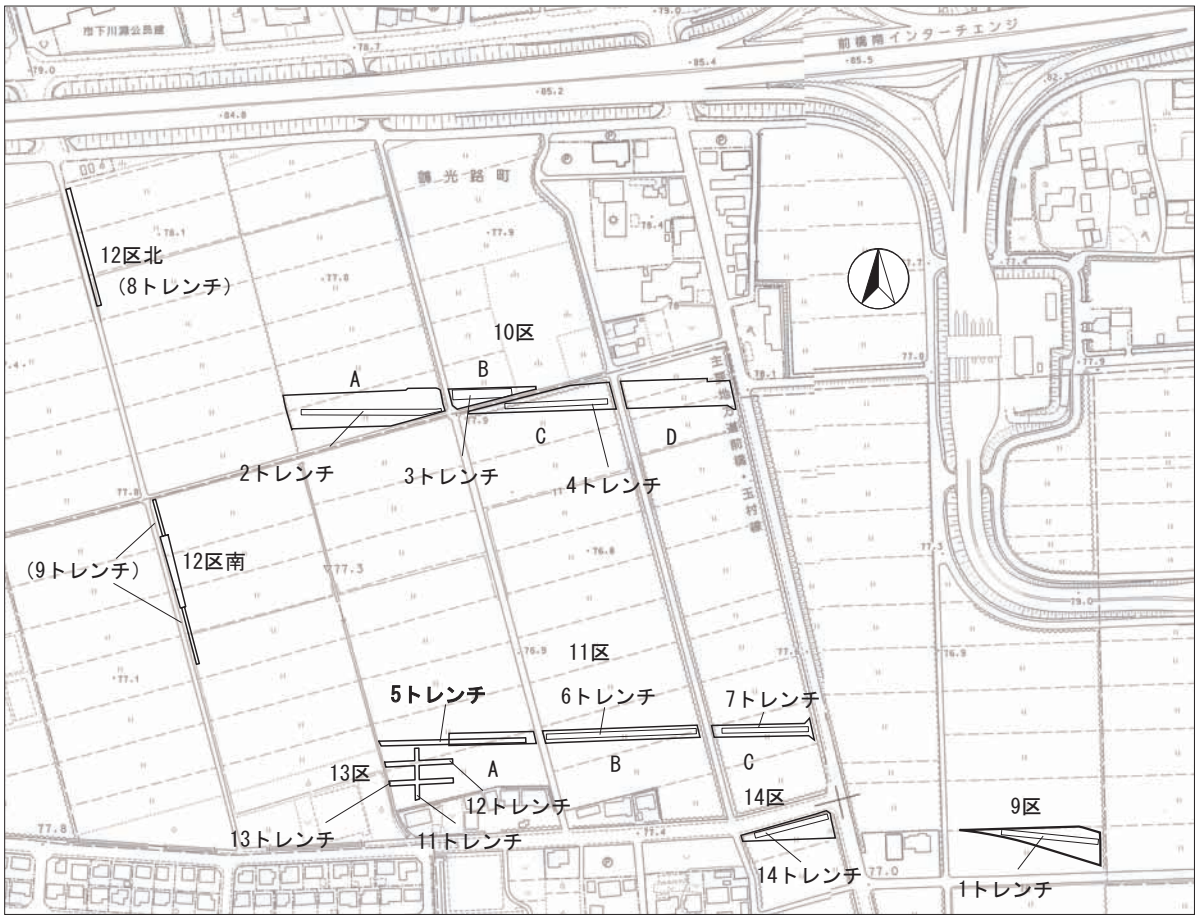
近世の遺構では、村中遺跡（30）で、埋土・出土遺物から近世に比定される環濠屋敷が、西田遺跡（37）から多数の土坑墓が確認されている。また、1783年（天明３年）噴火のAs-A軽石を処理した灰掻き穴等が、下阿内壱町畑遺跡（44）、下阿内前田遺跡（45）などから検出されている。

第１表　周辺遺跡概要一覧表

№	遺　跡　名	№	遺　跡　名	№	遺　跡　名	№	遺　跡　名
1	本遺跡	13	公田池尻遺跡	25	亀里銭面II遺跡	37	西田遺跡（県事業団）
2	南部拠点地区遺跡群№１	14	亀里平塚遺跡	26	横手湯田II遺跡	38	西田IV遺跡
3	南部拠点地区遺跡群№２	15	宿阿内城	27	横手湯田VI遺跡	39	西田遺跡（市調査団）
4	八幡山古墳	16	宿阿内古城	28	鶴光寺練引遺跡	40	鶴光寺榎橋遺跡
5	前橋天神山古墳	17	東田遺跡	29	横手湯田IV遺跡	41	徳丸高堰遺跡
6	坊山遺跡	18	宮地中田遺跡	30	村中遺跡	42	徳丸高堰遺II遺跡
7	後閑団地遺跡	19	木の宮遺跡	31	西田III遺跡	43	徳丸仲田III遺跡
8	後閑II遺跡	20	横手南川端遺跡	32	西田II遺跡	44	下阿内壱町畑遺跡
9	櫛島川端遺跡(市調査団)	21	横手早稲田遺跡	33	西田VI遺跡	45	下阿内前田遺跡
10	櫛島川端遺跡(県事業団)	22	横手宮田遺跡	34	鶴光寺榎橋II遺跡	46	力丸城
11	上佐鳥中原前遺跡	23	横手湯田遺跡(県事業団)	35	徳丸高堰III遺跡	47	新掘城
12	公田東遺跡	24	亀里銭面遺跡	36	徳丸高堰IV遺跡	48	徳丸仲田遺跡


群馬県
前橋市
朝倉町三丁目
朝倉町四丁目
八幡山古墳
朝倉町
広瀬町一丁目
広瀬町三丁目
後閑町
下佐鳥町
佐鳥町
櫛島町
公田町
西善町
宮地町
亀里町
昭和大橋
鶴光路町
房丸町
徳丸町
横手町
西横手町
宿横手町
横手大橋
北関東自動車道
下川町
前橋市
新堀町
下阿内町
中島町
浄水場
高崎JCT
上滝町
根岸川
利根川
サイクリングロード
下川淵工業団地
板井
樋越
力丸
0
1:25,000
1000m

第１図　周辺遺跡図



第２図　遺跡位置図（現形前橋市都市計画図）

第３図　遺跡位置図（昭和43年調整前橋市都市計画図）

0　1:5000　200m

Ⅲ　調査の方針と経過

1　調査方針

調査区名は、前年度に調査を行った南部拠点地区遺跡群№１、№２の続きで№３にあたり、調査区も６区に分れ、それぞれ９区、10区、11区、12区、13区、14区と呼称されていた関係で、１面はそれ使用し調査区が長く道路で分割されている所は、区の後にＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ等の呼称を付けて調査を行った。また、２面のトレンチ調査（トレンチかトレで詳記）では９区１トレンチ（１トレ）から14区14トレンチ（14トレ）まで（10トレは欠番）呼称し、調査を行った。

グリッドは、公共座標に基づいて４×４ｍで設定し、南北方向をＹ軸として北から南へＹ１、Ｙ２、Ｙ３、……、東西方向をＸ軸として西から東へＸ１、Ｘ２、Ｘ３、……、と付番した。各グリッドの呼称は北西杭の名称を使用している。また水準点Ｂ.Ｍは、９区の75.50ｍから最高点、12区の78.50ｍまで、0.5ｍ単位に区切ったＢ.Ｍを使用し、等高線は５㎝間隔とした。各調査区の公共座標（世界測地系　第Ⅸ系）は次のとおりである。９区Ｘ385、Ｙ136グリッド　Ｘ＝36,756.00ｍ　Ｙ＝－65,860.00ｍ、10区Ｘ305、Ｙ62グリッド　Ｘ＝37,052.00ｍ　Ｙ＝－66,180.00ｍ、11区Ｘ315、Ｙ117グリッド　Ｘ＝36,832.00ｍ　Ｙ＝－66,140.00ｍ、12区Ｘ243、Ｙ90グリッド　Ｘ＝35,940.00ｍ　Ｙ＝－66,428.00ｍ、13区Ｘ283、Ｙ123グリッド　Ｘ＝36,808.00ｍ　Ｙ＝－66,268.00ｍ、14区Ｘ345、Ｙ133グリッド　Ｘ＝36,768.00ｍ　Ｙ＝－66,020.00ｍ

調査の手順は、表土掘削・遺構確認・杭打ち測量・遺構精査・写真撮影・図面作成の順に行った。図面作成は、平板と遣り方を用いて、平面図は1/50・1/100、断面図は1/20の縮尺で作図を行った。遺物については遺物分布平面図を作成し、遺物台帳に記載し、付番処理して取り上げた。遺構等の写真撮影は、35㎜モノクロ・リバーサル、デジタルカメラの３種類を使用した。

2　調査経過

調査は、市教育委員会のもとに組織する前橋市埋蔵文化財発掘調査団（以下「調査団」という）の指導、監督のもと、スナガ環境測設株式会社が実施した。平成21年７月22日より資材搬入のための準備を行い、24日より現地調査事務所を設置し、発掘器材や掘削機械及び資材を搬入した。また、調査区が道路に面しているため、安全対策として調査範囲をロープで囲い調査準備を行った。

７月30日　調査範囲及び遺構検出面の確認を、調査団の業務監督員と行い調査に入る。

表土掘削は調査団の指示で、北西側の10区Ａ１面から掘削機械（バックホウ）、不整地運搬車（クローラー）で開始した。また、遺構確認を行いＢ軽石下水田跡、溝、土坑、ピットを検出した。

８月５日よりジョレン掛けによる精査作業と移植ゴテによる遺構の発掘作業に入る。また、公共座標（基準点）からグリッドとベンチ（Ｂ.Ｍ）を設定して測量・記録作業に入り、後着手範囲を除き11区、12区、１面へと調査を進めた。

10月５日に１面の空中写真撮影を行い、調査終了後に調査団業務監督員の検査を受けた。

10月９日より10区２・３・４トレ、11区５・６・７トレ、12区８・９トレ、13区11・12・13トレ２面（10トレは地権者の都合で未調査となる）の各３ｍ幅のトレンチによる、遺構確認調査を行った。Ｃ軽石混土面からは、土坑、ピット等が検出され、12区９トレの土坑、ピットからは古墳時代の遺物が出土した。また、２面の測量・記録作業終了後に業務監督員の検査を受け、１、２面の調査を終了する。

10月30日に地権者の都合で後着手だった９区、14区について、調査に入れることが決まり１面の調査に入る。遺構確認では、Ｂ軽石下水田跡や溝、中近世の土坑、ピットなどが検出された。

11月13日から10区、11区、12区、13区の埋め戻し作業に入る。

11月18日に９区、14区１面の空中写真撮影を行い、測量・記録作業終了後に業務監督員の検査を受ける。

11月19日より９区１トレ、14区14トレ２面の表土掘削と遺構確認に入る。検出した遺構は、９区１トレより Hr-FA が堆積する溝１条が検出された。14区14トレからは、Ｃ軽石混土面を確認したが遺構は検出されなかった。

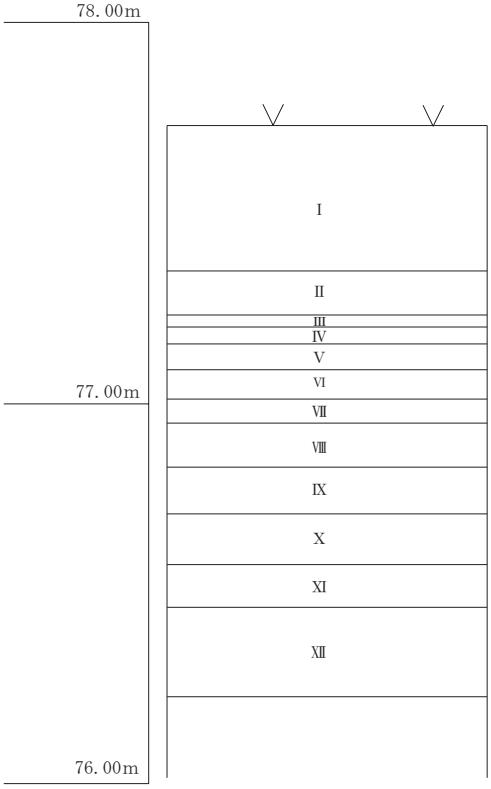
11月25日に９区１トレ、14区14トレ２面の検査を受けて、１、２面の調査を終了する。

11月27日から９区、14区の埋め戻しと、資材搬出作業を行い12月９日ですべて終了した。

Ⅳ　層　　序

本遺跡の基本土層は、10区Ａの南壁側に入れた深掘りをもとにし、模式的に断面図を作成した。それについての土層説明を下記に掲載した。また圃場整備のため、ほとんどの調査区で As-A 軽石は、現耕作土にすき込まれていた。さらに、一部の調査区では、As-B 軽石も同様にすき込まれていた。また、地点により堆積状態の差異が見られる所もあるが、基本的には第４図に示したとおりである。

第Ⅳ層が浅間山起因の As-B テフラ層で、その直下の第Ⅴ・Ⅵ層が平安時代末期水田跡の土層である。また、第Ⅶ層が２面の確認面で、浅間山起因の As-C 軽石を含む層である。土層断面写真は、図版11を参照されたい。



第４図　基本土層断面図

（土層注記）

Ⅰ．黒褐色土層（2.5Y3/2）粘締弱　As-A 軽石（φ１～２㎜）を含む

Ⅱ．褐灰色土層（10YR6/1）粘弱締中　明黄褐色土（10YR7/6）と As-B 軽石含む

Ⅲ．褐灰色土層（10YR5/1）粘締中　As-B 軽石を多く含み、赤褐色の酸化跡あり

Ⅳ．褐灰色土層（10YR5/1）～　鈍い黄褐色土層（10YR4/3）粘締なし　As-B 軽石層　１面確認面

Ⅴ．黒褐色粘質土層（10YR3/1）粘締強　白色軽石（φ１～２㎜）を１％含む（Ｂ水田層）

Ⅵ．褐灰色粘質土層（10YR5/1）粘締強　白色軽石（φ１～２㎜）を３％含む

Ⅶ．黒褐色粘質土層（10YR3/1）粘締強　As-C 軽石（φ１～３㎜）を１％含み植物の酸化痕あり　２面確認面

Ⅷ．褐灰色粘質土層（10YR5/1）粘締強 As-C 軽石（φ１～３㎜）を２％含み植物の酸化痕あり

Ⅸ．黒色粘質土層（10YR3/1）粘締強 As-C 軽石（φ１～２㎜）を１％含み植物の酸化痕あり

Ⅹ．褐灰色粘質土層（10YR5/1）粘締強　白色軽石（φ１～２㎜）を３％含み植物の酸化痕あり

Ⅺ．褐灰色粘質土層（10YR4/1）粘締強

Ⅻ．灰黄粘質土（2.5YR7/2）粘締強

Ⅴ　調査の概要

本遺跡の調査では、現地表面より18～45㎝掘り下げた面で、As-B テフラ層を確認し基本土層のⅣ層（As-B 軽石）として、１面の遺構調査を行った。また３ｍ幅のトレンチによる２面調査も１面から12～22㎝掘り下げたＣ軽石混土面でⅦ層を、２面の遺構確認面として調査を行った。

調査では、１面から As-B 軽石に覆われた平安時代のＢ水田跡や大畦畔６本（推定含む）、水口３ヵ所、溝15条、馬の歩行跡１ヵ所、ピット３基などと、中世から近世以降の溝30条、中・近世のピット42基、平安時代・近世以降の土坑２基や焼夷弾落下跡１ヵ所などの遺構を検出した。

遺物は、Ｂ水田跡や溝から平安時代の土師器、須恵器片が少量出土した。また、近世以降と思われる陶器、磁器片なども出土した。

２面は、Ｃ軽石混土面で、古墳時代の土坑２基、ピット18基、古墳時代から平安時代にかけてと思われる、溝４条が検出された。その中で、９区１トレからは、Hr-FA を含む溝と一部凹凸範囲が検出されたが、水田跡などは検出されなかった。

遺物は、12区９トレ内の土坑１、２号とピット４号からは、４世紀から５世紀にかけてと思われる遺物が出土した。

各区で検出した遺構は、計測表にまとめて報告する。

Ⅵ　検出された遺構と遺物

１　古墳時代、平安時代、中・近世の調査

⑴　９区１面、９区２面１トレンチ〔第５図、図版１・２〕

調査区の南東側に位置する。１面で検出した遺構は As-B 水田、溝、ピット、夷弾落下跡などがある。遺構の確認面は、現地表から33～45㎝下である。As-B 水田は、浅間Ｂ軽石が２～８㎝程の厚さで検出され、その下から水田跡が13面検出された。区画の規模は［1.09～228.70］㎡を測る。また、区画する畦畔は全体で計15本検出され上幅［13～50］㎝、下幅［41～85］㎝を測り、そのうちの６・８号畦畔は推定大畦畔である。水田面の標高は、９区１号水田の標高75.39ｍ～13号水田の標高75.10ｍで比高差29㎝を測り、１号水田から13号水田への配水が考えられる。また、水口は検出されなかったが、南北方向に馬の足跡列が検出された。溝は、W－１～３号の３条検出されいずれも南北方向に位置し、W－１・３号は As-B 軽石で埋まっている。ピットは、Ｐ－１～３号で As-B 軽石を多く含むもので中世以降と思われる。また、推定大畦畔とW－２号と重複し楕円形の凹みで焼夷弾落下跡と推測される遺構も検出され、近代の遺物（鉄片）の出土があった。

２面では、１面から16～20㎝下の As-C 軽石を含む混土層を確認面とした。検出した遺構は、Hr-FA で埋まる溝W－４を１条とさらに Hr-FA を含む凹凸面を確認したが、部分的であり水田などの遺構は検出されなかった。

９区１面、２面１トレの各遺構の計測値は、計測表にまとめて報告する。

第２表　水田計測表　　［　］は検出値を表す。

水田No.	面積(m²)	東畦(m)	西畦(m)	南畦(m)	北畦(m)	備　　考
1	[6.67]	[2.18]				９区１面
2	[23.94]	[3.65]	[2.18]			９区１面
3	[42.56]	[5.73]	[3.65]			９区１面
4	[40.02]	[7.40]	[5.73]			９区１面
5	[106.29]	[11.23]	[7.40]			９区１面
6	[228.70]	[15.50]	[11.23]	[3.90]		９区１面　東側中央で半円状、W－２と重複
7	[18.61]	[13.40]	[16.50]			９区１面　西側中央で半円状、W－２・３と重複
8	[1.09]	[1.30]			[3.90]	９区１面　W－２と重複
9	[4.89]	[3.60]	[3.15]		[2.35]	９区１面
10	[144.75]	[11.10]	[13.40]	12.75		９区１面、馬足跡列あり、W－１と重複
11	[64.45]	[7.15]	[3.58]		13.12	９区１面、馬足跡列あり、W－１と重複
12	[33.23]		[11.10]	[3.20]		９区１面
13	[15.18]		[7.15]		[3.20]	９区１面

第３表　畦畔計測表　　［　］は検出値、E－W－N－S は東西南北を表す。

畦畔No.	グリッド	上　幅(cm)	下　幅(cm)	畦畔の高さ(cm)				走行	備　考
				北　側	南　側	東　側	西　側		
1	X376, Y134	[18～30]	[52～69]			[3.0～5.5]	[1.5～3.0]	N－S	９区１面
2	X379, Y134・135	[25～30]	[50～60]			4.0～4.5	[1.0～1.5]	N－S	９区１面
3	X381, Y134・135	[18～29]	[51～60]			[3.0～5.5]	[1.0～2.0]	N－S	９区１面
4	X383, Y134～136	[13～25]	[43～60]			[4.0～6.0]	[2.0～3.0]	N－S	９区１面
5	X386, Y134～137	[30～35]	[42～66]			[2.5～3.5]	[1.0～2.0]	N－S	９区１面
6	X390, Y134～138	[30～50]	[75～85]			[4.0～9.0]	[2.0～6.5]	N－S	９区１面
7	X390, Y137・138	[27～48]	[56～81]	[1.0～1.5]	[1.0～3.0]			E－W	９区１面
8	X390, Y138	[39～42]	[80～84]			[4.5～6.0]	[6.0～9.0]	N－S	９区１面
9	X390・391, Y137	35～45	74～78	5.5～6.5	5.0～6.5			E－W	９区１面
10	X391, Y134～137	[22～27]	[55～63]			[1.0～2.5]	[1.5～2.0]	N－S	９区１面
11	X391, Y137・138	[27～37]	[66～73]			[2.5～4.0]	[1.5～4.5]	N－S	９区１面
12	X391～394, Y137	[22～35]	[55～75]	1.0～4.0	3.0～6.0			E－W	９区１面
13	X394, Y135～137	[23～30]	[50～60]			[1.0～3.0]	[2.0～4.5]	N－S	９区１面
14	X394・395, Y137	[29～48]	[58～68]	[1.0～1.5]	[3.5～4.5]			E－W	９区１面
15	X394, Y137～139	[20～38]	[41～58]			[1.0～4.0]	[1.0～3.5]	N－S	９区１面

No. 6，8 は大畦畔。

第４表　溝計測表　（　）は推定値、［　］は検出値、E－W－N－S は東西南北を表す。

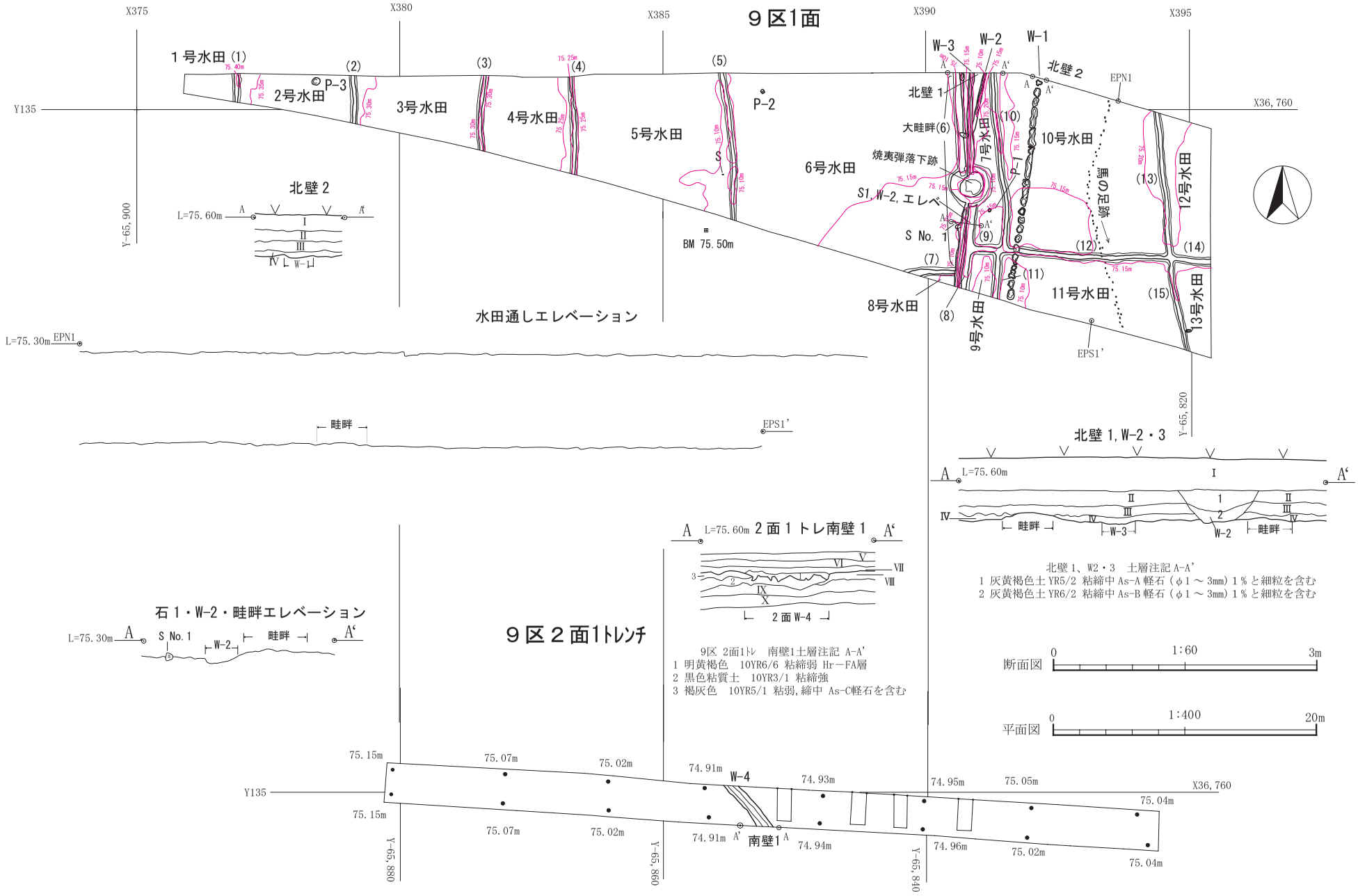
溝No.	遺構位置	長さ(m)	深さ(cm)	底のレベル(m)	勾配(‰)	上幅(cm)	下幅(cm)	流水方向	備　考
1	X391・392, Y134～138	17.20	N15, S４	N75.05, S75.06		32～50	10～32		９区１面
2	X390, Y134・135	[4.70]	[N５, S５]	N75.12, S75.12		20～30	8～12		９区１面
3	X390, Y134～138	(17.5)	N７, S６	N75.08, S75.03	[2.85]	[30～56]	[15～20]	N－S	９区１面
4	X386・387, Y134・135	4.1	N８, S６	N74.84, S74.83	2.43	80～95	30～35	N－S	９区２面１トレ

第５表　ピット計測表

ピット番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形　状	備　　考
P－１	X391, Y136	28	24	16	ほぼ円形	９区１面
P－２	X386, Y134	32	30	11	やや四角	９区１面
P－３	X378, Y134	62	57	13	楕円	９区１面

第６表　焼夷弾落下跡計測表　　［　］は検出値を表す。

番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形　状	備　　考
1	X290・291, Y136	206	175	[120]	楕円形	９区１面　大畦畔、W－２と重複



第５図　９区１面、２面１トレンチ実測図

⑵　**10区１面Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ、10区２面　２・３・４トレンチ**〔第６～８図、図版２～５〕

調査区の北側に位置する。１面で検出した遺構はAs-B水田、溝、ピット、などがある。遺構の確認面は、現地表から18～38㎝下である。As-B水田は、浅間Ｂ軽石が３～６㎝程の厚さで検出され、その下から、Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ調査区で水田跡が計66面検出された。区画の規模は［0.23～251.79］㎡を測る。また、区画する畦畔は全体で計111本検出され上幅［10～273］㎝、下幅［30～325］㎝を測り、そのうちのＡ調査区29・30・31・33号畦畔、Ｃ調査区70・71・72号畦畔、Ｄ調査区107・109・111号畦畔は大畦畔である。水田面の標高は、10区Ａの１号水田の標高77.28m～10区Ｄの66号水田の標高76.54mで比高差74㎝を測り、１号水田から66号水田へ配水が考えられる。また、水口はＤ調査区で１ヵ所検出された。Ｃ調査区では、南北方向に凹凸範囲が検出されたが、はっきりとした形状が残るものは見られない。溝はＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ調査区で、Ｗ―１～19号までの19条検出しＷ―１・２―１・２―２・４・５号を除き、いずれも南北方向に位置し、Ｗ―７～９・11～14・17号はAs-B軽石で埋まっている。また、Ｗ―９・11・19号は大畦畔に伴う溝である。ピットはＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ調査区で、計36基検出した。Ｐ―13・14・32号はAs-B軽石で埋まっていた。その他はAs-B軽石を多く含むものや、As-A軽石の混入するもので中世から近世と思われる。２面では、１面から15～17㎝下のAs-C軽石を含む混土層を確認面とした。検出した遺構は、10区２トレからＰ―37～46号まで検出した。いずれもAs-C軽石を含む。溝は、10区Ａ２トレ、Ｃ４トレからＷ―20～22号を検出した。浅い溝でAs-C軽石を含む。

10区１面Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ、２面２・３・４トレの各遺構の計測値は、計測表にまとめて報告する。

第７表　水田計測表　　（　）は推定値、［　］は検出値を表す。

水田No.	面積(㎡)	東畦(m)	西畦(m)	南畦(m)	北畦(m)	備　　考
1	[17.41]	[0.65]		[7.65]		10区Ａ１面
2	(65.13)	7.42		[2.82]	[7.65]	10区Ａ１面
3	(28.48)	4.33		[9.55]	[2.82]	10区Ａ１面
4	[31.91]	[2.55]			[9.55]	10区Ａ１面　Ｗ―２―１・２―２と重複
5	[60.20]	[4.52]	8.02	10.92		10区Ａ１面
6	[4.13]	[0.85]	[0.90]	5.89		10区Ａ１面
7	106.16	4.60	9.10	18.50	20.05	10区Ａ１面　Ｗ―３と重複
8	[251.79]	[9.90]	[6.90]	[4.50]	34.92	10区Ａ１面　Ｗ―２・４・５と重複
9	[11.44]	[1.35]	[0.85]	14.20		10区Ａ１面
10	[2.61]	[1.70]			(4.50)	10区Ａ１面
11			[1.30]	[0.40]		10区Ａ１面
12			4.60	[2.65]	[0.40]	10区Ａ１面
13			(8.45)	(18.95)	[2.90]	10区Ａ１面
14	[28.89]	[5.25]	[6.75]	5.55		10区Ａ１面　東側大畦畔
15	[117.22]	7.75	(1.55)	[12.15]	(24.55)	10区Ａ１面　東側大畦畔、Ｗ―４・５と重複
16	[5.15]	[2.28]			[5.72]	10区Ａ１面
17	[10.03]	[2.48]	[2.33]		6.10	10区Ａ１面　東側大畦畔、Ｗ―４と重複
18	[10.85]	[1.45]	[2.12]	(7.72)	6.10	10区Ａ１面　西側大畦畔、Ｗ―10と重複
19	[21.11]	[2.73]	[1.65]	11.43		10区Ａ１面
20	27.94	5.92	5.53	(4.68)	(7.75)	10区Ａ１面　西側大畦畔、Ｗ―10と重複
21	49.58	4.25	5.57	13.42	11.48	10区Ａ１面
22	25.59	6.12	5.62	(5.32)	(16.32)	10区Ａ１面　西側大畦畔、Ｗ―10と重複
23	[75.14]	[5.04]	6.15	[2.50]	13.45	10区Ａ１面
24	[4.56]	[0.76]	(1.88)		(5.72)	10区Ａ１面　西側大畦畔、Ｗ―４・10と重複
25	[0.23]		[0.68]		[2.50]	10区Ａ１面
26	(46.01)		[3.10]	[10.22]		10区Ａ１面
27	[46.56]	[6.58]	[9.08]		8.20	10区Ａ１面
28	(55.00)		[6.78]		[2.28]	10区Ａ１面
29	[72.28]	[2.27]				10区Ｂ１面
30	[4.08]		[2.27]			10区Ｂ１面
31	[42.35]	[5.67]				10区Ｃ１面
32	[45.54]	[6.73]	[5.67]	[5.19]		10区Ｃ１面
33	(20.07)	[3.31]	[3.31]	6.84		10区Ｃ１面
34	[24.27]	[4.73]	[3.93]		6.84	10区Ｃ１面
35	(43.07)	[3.98]	[3.31]	12.70		10区Ｃ１面
36	[54.92]	[7.89]	[4.73]		12.30	10区Ｃ１面
37	(14.83)	[4.22]	[3.98]	4.09		10区Ｃ１面
38	[28.80]	[7.65]	[7.98]		4.09	10区Ｃ１面
39	(27.81)	[2.91]	[0.51]	19.15		10区Ｃ１面　東側大畦畔
40	(78.24)		3.67	[8.20]	19.15	10区Ｃ１面　東側大畦畔

水田No.	面積(m²)	東畦(m)	西畦(m)	南畦(m)	北畦(m)	備　　考
41	(55.10)		5.66	20.83	[8.20]	10区C１面　東側大畦畔
42	[70.43]	[6.29]	[1.94]		20.83	10区C１面　東側大畦畔
43	[31.75]		[3.05]	[18.27]		10区C１面
44	[122.43]	[8.63]	6.23	(20.29)	[18.27]	10区C１面　西側大畦畔
45	[95.58]	[6.90]	[7.11]		20.29	10区C１面　西側大畦畔
46	[136.16]	[7.20]	[8.77]	17.63		10区C１面　西側大畦畔
47	[110.42]	[6.13]	[6.78]		17.63	10区C１面　西側大畦畔
48	[40.21]	[7.50]		[5.25]		10区D１面
49	[40.56]	[8.57]			[6.42]	10区D１面
50	[85.85]	[7.22]	[7.50]	13.68		10区D１面
51	[96.94]	[8.80]	[8.57]		12.64	10区D１面
52	(117.11)	9.98	(9.75)	12.25		10区D１面
53	[46.12]	[4.27]	[4.87]		12.25	10区D１面
54	(7.06)	[1.80]		[0.60]		10区D１面
55	(10.70)		[1.80]	[0.74]		10区D１面
56	(50.53)	[12.15]	9.98	5.77	[0.74]	10区D１面
57	[19.81]	[4.09]	[4.27]		5.77	10区D１面
58	[98.51]	[4.85]	[7.71]	17.58		10区D１面
59	[54.59]	[8.62]	[8.53]		5.17	10区D１面
60	43.45	6.55	4.28	9.79	10.55	10区D１面
61	[64.55]	[4.49]	[3.45]	(10.55)	18.18	10区D１面　東側大畦畔
62	[1.66]		[0.85]		[7.45]	10区D１面
63	[78.37]	[9.47]	[11.38]	(8.32)		10区D１面　東側大畦畔
64	[1.33]		[0.89]	[6.95]		10区D１面　西側大畦畔
65	[60.04]		8.42	[9.09]	(6.95)	10区D１面　西側大畦畔
66	[38.10]		[4.73]		[9.09]	10区D１面　西側大畦畔

第８表　畦畔計測表　(　)は推定値、[　]は検出値、E－W－N－Sは東西南北を表す。

畦畔No.	グリッド	上　幅(cm)	下　幅(cm)	畦畔の高さ(cm)				走行	備　　考
				北　側	南　側	東　側	西　側		
1	X262～265, Y61・62	[16～41]	[42～75]	[1.0～3.5]	[2.0～5.5]			E－W	10区A１面
2	X265, Y61	[36]	[75]			[4.5]	[3.5]	N－S	10区A１面
3	X265, Y61～63	21～37	61～71			[2.5～3.0]	[0.5～4.5]	N－S	10区A１面
4	X264・265, Y63	[21～22]	[50～58]	[1.5～3.0]	[0.5～3.0]			E－W	10区A１面
5	X265, Y63・64	[15～30]	[58～71]			[2.0～3.5]	[2.0～3.0]	N－S	10区A１面
6	X263～265, Y64	[15～19]	[49～60]	[2.0～3.5]	[1.5～6.0]			E－W	10区A１面
7	X265, Y64・65	[18～26]	[52～60]			[2.5～4.0]	[2.0～4.0]	N－S	10区A１面
8	X265～267, Y62・63	19～32	50～62	2.5～5.0	4.0～6.0			E－W	10区A１面
9	X267～268, Y61	[20～23]	[60～64]			[2.0～3.5]	[2.0～3.0]	N－S	10区A１面
10	X268～269, Y61	21～24	50～60	1.0～4.0	1.5～3.0			E－W	10区A１面
11	X267, Y61・62	20～41	52～75			[3.5～5.0]	[2.5～3.0]	N－S	10区A１面
12	X267・268, Y62・63	20～42	44～76			3.5～4.0	2.0～4.0	N－S	10区A１面
13	X268, Y61	[35]	[48]				[1.5]	N－S	10区A１面
14	X268～272, Y61	[11～30]	[45～67]	[1.0～2.5]	[1.5～4.5]			E－W	10区A１面
15	X268～272, Y62・63	[3 ～16]	[50～67]	[1.0～5.0]	[2.0～4.0]			E－W	10区A１面
16	X272・273, Y61	[18～24]	[41～47]			[0.5]	[0.5]	N－S	10区A１面
17	X273, Y61	[20]	[50]	[3.5]	[0.5]			W－E	10区A１面
18	X272, Y61・62	20～39	52～69			0.5～3.0	2.5～3.0	N－S	10区A１面
19	X273, Y62	(19～27)	[39～56]	[0.5～1.0]	[1.0～4.0]			E－W	10区A１面
20	X272～273, Y62・64	[12～22]	[50～63]			[0.5～5.5]	[0.5～3.0]	N－S	10区A１面
21	X271・272, Y64・65	[25～37]	[56～58]	[2.0～2.5]	[3.5～4.0]			E－W	10区A１面
22	X272・273, Y64・65	[22～23]	[49～58]			[4.5～6.0]	[2.0～4.0]	N－S	10区A１面
23	X273～277, Y62～64	[20～41]	[52～73]	[2.0～4.5]	[2.0～4.5]			E－W	10区A１面
24	X275～277, Y64・65	[30～35]	[52～60]	[1.0～2.5]	[5.0～7.5]			E－W	10区A１面
25	X276・277, Y60～62	[17～32]	[43～62]			[1.0～2.5]	[2.0～3.0]	N－S	10区A１面
26	X277・278, Y62	19～29	46～67	2.0～5.0	2.0～4.5			E－W	10区A１面
27	X277・278, Y64	32～49	66～81	1.5～2.5	1.5～4.5			E－W	10区A１面
28	X277, Y64・65	[34～40]	[59～70]			[1.0～2.0]	[0.5～3.0]	N－S	10区A１面
29	X278, Y60・61	[115～120]	[159～160]			[1.5～2.5]	[2.5～3.0]	N－S	10区A１面
30	X288, Y62～64	143～151	188～192			1.0～2.5	1.0～4.0	N－S	10区A１面
31	X278・279, Y64	[140～157]	[175～210]			[2.0～6.0]	[2.0～7.0]	N－S	10区A１面
32	X278～280, Y61	[20～45]	[43～90]	[0.5～2.0]	[1.5～5.0]			E－W	10区A１面
33	X278, Y61・62	132～142	167～180			3.0～4.5	1.0～3.0	N－S	10区A１面
34	X279・280, Y62	[17～21]	[50～60]	[0.5～2.0]	[1.5～2.0]			E－W	10区A１面
35	X279・280, Y64	[23～45]	[55～80]	[0.5～3.0]	[3.0～5.0]			E－W	10区A１面
36	X280, Y60・61	[30～32]	[62～65]			[3.0～4.0]	[0.5～1.0]	N－S	10区A１面
37	X280, Y61・62	27～32	53～60			1.5～4.5	0.5～1.0	N－S	10区A１面
38	X280, Y62・64	20～25	55～65			3.5～5.0	1.0～1.5	N－S	10区A１面
39	X280, Y64	[182]	[50]			[1.0]	[0.5]	N－S	10区A１面
40	X280～283, Y61	27～49	58～85	0.5～2.0	1.0～3.0			E－W	10区A１面
41	X280～283, Y62	18～30	58～69	0.5～1.5	3.0～5.0			E－W	10区A１面
42	X280・281, Y64	[32～49]	[78～83]	[1.5～2.0]	[4.0]			E－W	10区A１面
43	X283, Y60・61	[52～62]	[95～102]			[0.5～3.5]	[0.5～1.0]	N－S	10区A１面

畦畔 No.	グリッド	上　幅 (cm)	下　幅 (cm)	畦畔の高さ(cm)				走行	備　考
				北　側	南　側	東　側	西　側		
44	X283, Y61・62	20～29	58～60			1.0～3.0	1.5～3.0	N－S	10区A 1面
45	X283・284, Y62・63	[20～28]	[47～67]			[1.5～3.0]	[1.5～2.0]	N－S	10区A 1面
46	X283～285, Y61	13～27	30～62	1.0～2.0	1.0～4.0			E－W	10区A 1面
47	X285・286, Y61	[40]	[60]		[1.0～3.0]			E－W	10区A 1面
48	X285, Y61～63	[26～44]	[62～80]			[2.5～4.0]	[1.5～2.5]	N－S	10区A 1面
49	X295, Y60	[40～51]	[79～85]			[1.0～1.5]	[1.5～3.5]	N－S	10区B 1面
50	X293, Y63・64	[21～27]	[47～60]			[0.5～3.0]	[1.5～4.0]	N－S	10区C 1面
51	X293～295, Y64	[28～47]	[62～77]	[1.0～2.0]	[1.0～2.5]			E－W	10区C 1面
52	X295, Y62・63	[40～54]	[64～79]			[1.0～2.5]	[1.0～2.0]	N－S	10区C 1面
53	X295～297, Y63	39～40	63～70	0.5～1.5	1.5～2.0			E－W	10区C 1面
54	X295, Y63・64	[18～58]	[46～89]			[3.0～3.5]	[2.5～3.5]	N－S	10区C 1面
55	X297, Y62・63	[34～41]	[63～70]			[0.5～1.0]	[1.0～2.0]	N－S	10区C 1面
56	X297, Y63・64	[39～40]	[56～74]			[1.5～2.0]	[0.5]	N－S	10区C 1面
57	X297～300, Y62・63	30～45	61～75	0.5～1.5	1.0～3.5			E－W	10区C 1面
58	X300・61,62	[22～38]	[57～73]			[0.5]	[1.0～1.5]	N－S	10区C 1面
59	X299・300, Y62～64	[39～45]	[66～78]			[1.0～3.0]	[0.5～1.0]	N－S	10区C 1面
60	X300・301, Y62	[29～32]	[57～61]	[0.5～1.0]	[1.0～1.5]			E－W	10区C 1面
61	X301, Y61・62	[24～49]	[53～77]			1.0～3.5	[2.0～2.5]	N－S	10区C 1面
62	X301, Y61	[23]	[51]			[0.5]	[0.5]	N－S	10区C 1面
63	X301, Y61・62	32～49	58～77			0.5～3.5	1.5～2.5	N－S	10区C 1面
64	X300・301, Y62・63	29～31	49～71			2.0～3.5	1.5～3.0	N－S	10区C 1面
65	X300・301, Y62～64	[28～31]	[49～73]			[2.0～3.5]	[0.5～3.0]	N－S	10区C 1面
66	X300・301, Y63・64	[30～38]	[60～70]			[2.0～2.5]	[0.5]	N－S	10区C 1面
67	X301～305, Y61	27～39	55～70	0.5～2.5	2.0～3.0			E－W	10区C 1面
68	X301～303, Y62	[21～30]	[53～67]	[0.5～1.0]	[0.5～2.5]			E－W	10区C 1面
69	X301～305, Y62・63	24～44	40～70	0.5～2.0	2.0～5.0			E－W	10区C 1面
70	X305・306, Y60	[222～278]	[271～341]			[1.0～2.5]	[1.0～5.0]	N－S	10区C 1面
71	X305・306, Y60～62	241～281	262～300			1.0～4.0	1.5～2.0	N－S	10区C 1面
72	X305・306, Y62～64	[233～273]	[300～325]			[1.5～3.5]	[1.0～1.5]	N－S	10区C 1面
73	X306～310, Y60	[20～36]	[41～75]	[1.0～2.0]	[1.0～4.5]			E－W	10区C 1面
74	X306～311, Y62	25～40	50～75	1.0～4.0	1.5～3.0			E－W	10区C 1面
75	X311, Y60～62	[37～42]	[68～75]			[0.5～2.0]		N－S	10区C 1面
76	X311, Y62・63	[30～40]	[70～80]			[1.0～2.0]		N－S	10区C 1面
77	X311～315, Y62	21～31	60～78	0.5～4.5	1.0～5.0			E－W	10区C 1面
78	X315, Y60・62	[16～20]	[46～62]			[0.5～1.0]	[1.0～3.5]	N－S	10区C 1面
79	X315・316, Y62・63	[15～19]	[40～54]			[1.5]	[1.0～2.0]	N－S	10区C 1面
80	X318・319, Y61	[36～46]	[71～80]	[1.0～3.5]	[1.0～2.5]			E－W	10区D 1面
81	X319, Y59・61	[22～38]	[47～67]			[1.0～2.5]	[0.5～4.5]	N－S	10区D 1面
82	X319～322, Y61	27～39	68～70	1.0～2.5	1.0～4.5			E－W	10区D 1面
83	X319, Y61・63	[36～56]	[85～92]			[2.0～3.0]	[0.5～1.0]	N－S	10区D 1面
84	X322, Y59～61	[25～39]	[75～93]			[0.5～1.0]	[1.0～2.5]	N－S	10区D 1面
85	X322, Y61～63	[29～31]	[75～83]			[0.5～1.0]	[1.0～2.0]	N－S	10区D 1面
86	X322～325, Y62	31～140	70～200	0.5～2.0	1.0～2.5			E－W	10区D 1面
87	X322, Y62・63	[25～40]	[77～90]			[1.0～1.5]	[1.0～2.5]	N－S	10区D 1面
88	X325・326, Y59	[31～41]	[70～80]			[0.5]	[0.5]	N－S	10区D 1面
89	X325・326, Y59	[43]	[79]	[0.5]	[0.5]			E－W	10区D 1面
90	X325, Y59	[41]	[78]	[1.0]	[0.5]			E－W	10区D 1面
91	X325・326, Y60～62	27～29	63～71			[0.5～1.5]	[0.5]	N－S	10区D 1面
92	X325～327, Y62	[27～33]	70～77	1.0～3.0	0.5～2.0			E－W	10区D 1面
93	X325, Y62・63	[36～50]	[77～89]			[0.5～1.5]	[0.5～2.5]	N－S	10区D 1面
94	X327, Y59～61	[41～66]	[83～105]			[0.5～1.5]	[0.5～1.5]	N－S	10区D 1面
95	X327, Y61	30～39	73～85	0.5～1.0	1.0～2.5			E－W	10区D 1面
96	X327, Y61・62	23～29	63～75			1.0～2.0	0.5～1.0	N－S	10区D 1面
97	X327, Y62・63	10～45	54～90			[1.0～2.0]	[0.5]	N－S	10区D 1面
98	X331, Y59・60	[39～49]	[77～85]			[1.5～3.5]	[0.5～3.5]	N－S	10区D 1面
99	X329～331, Y60・61	37～43	65～83	0.5～2.0	0.5～3.5			E－W	10区D 1面
100	X331, Y60～62	33～42	63～81			2.0～4.0	[3.0～4.5]	N－S	10区D 1面
101	X331～333, Y62	30～43	64～78			0.5～2.5	1.0～3.5	N－S	10区D 1面
102	X329～331, Y62	28～68	71～103	0.5～1.0	1.5～3.0			E－W	10区D 1面
103	X329, Y62・63	42～53	79～83			1.0～1.5	1.5～4.0	N－S	10区D 1面
104	X329～331, Y63	[25～37]	[50～73]	[1.0～3.5]	[0.5～2.0]			E－W	10区D 1面
105	X329, Y63	[58]	[82]			[3.0]	[1.5]	N－S	10区D 1面
106	X331, Y62	[57～63]	[94～106]	[1.0～2.0]	2.0～5.5			E－W	10区D 1面
107	X333・334, Y59	[120]	[153]			[2.0]	2.0	N－S	10区D 1面
108	X333～335, Y59・60	[35～47]	[67～90]	[0.5～2.0]	[4.0～6.0]			E－W	10区D 1面
109	X333・334, Y60～62	71～107	115～150			[2.5～5.0]	[1.0～4.0]	N－S	10区D 1面
110	X333～336, Y61・62	[43～48]	[75～90]	[1.0～2.0]	[2.0～3.5]			E－W	10区D 1面
111	X333・334, Y62・63	[55～83]	[92～118]			[2.0～5.5]	[0.5～2.5]	N－S	10区D 1面

No.29～31、33、70～72大畦畔、No.75、76はW－13と重複。106～111大畦畔。No.82東側水口あり。No.84～86はW－17と重複。

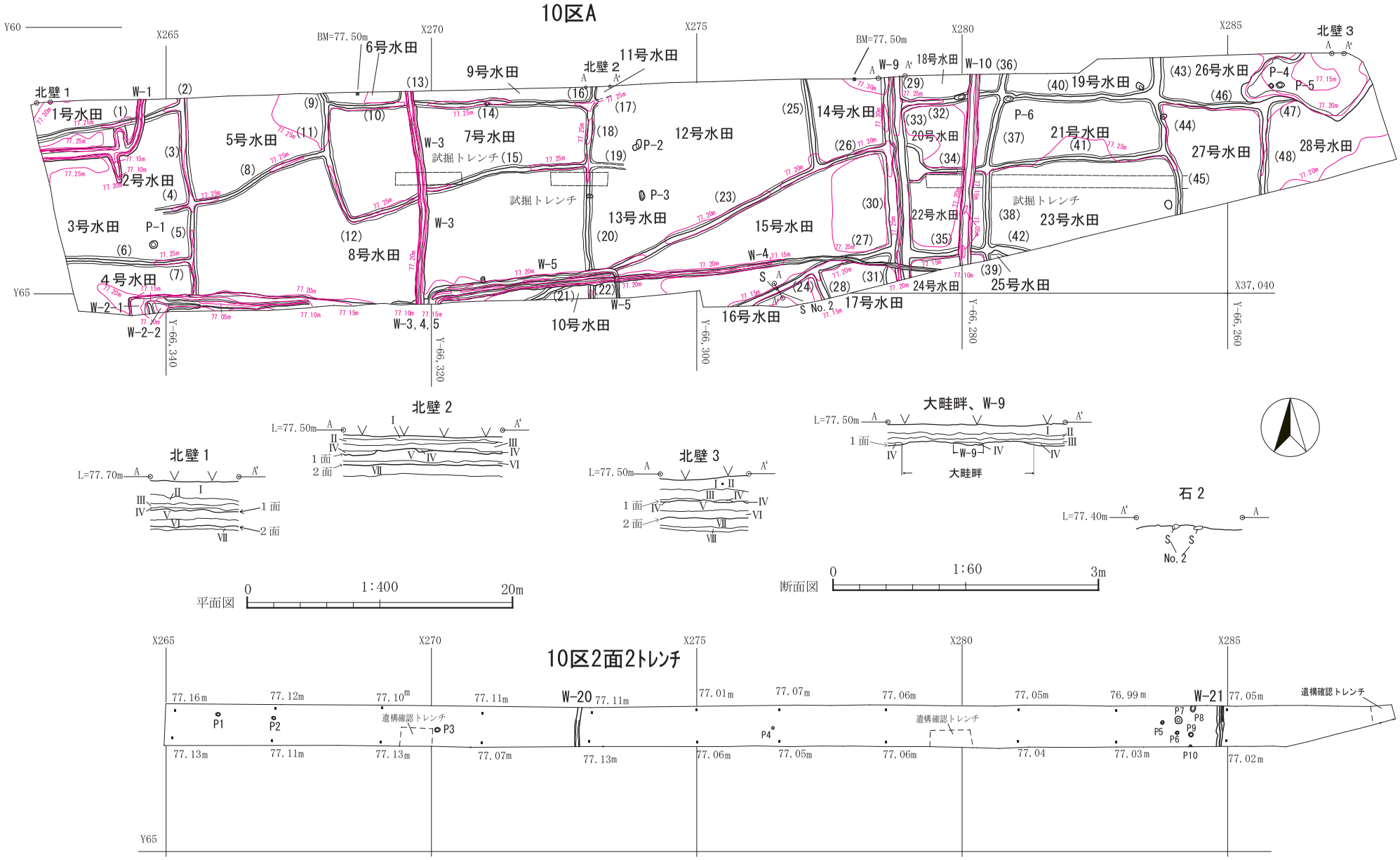
第９表　溝計測表　　［　］は検出値、Ｅ－Ｗ－Ｎ－Ｓは東西南北を表す。

溝No.	遺構位置	長さ(m)	深さ(cm)	底のレベル(m)	勾配(‰)	上幅(cm)	下幅(cm)	流水方向	備　考
1	X262～264, Y61・62	10.45	W17, N16	W77.07, N77.09	1.91	62～85	16～40	N－W	10区A１面
2-1	X264～269, Y65	[18.50]	W12, E15.5	W77.08, E77.05	1.62	65～149	45～102	W－E	10区A１面
2-2	X264・265, Y65	3.6	W７, E３	W77.11, E77.10	2.77	33～110	12～95	W－E	10区A１面
3	X269, Y61～65	16.09	N15, S14	E77.09, S77.05	2.48	55～65	13～25	N－S	10区A１面
4	X270～279, Y64・65	38.20	W11.5, E6.5	E77.12, W77.07	1.30	29～52	11～17	E－W	10区A１面
5	X269～273, Y65	16.60	W9., E３	E77.18, W77.10	4.81	29～45	９～23	E－W	10区A１面
6	X289・290, Y60・61	4.38	N36, S28.5	N76.74, S76.72	4.56	[242]	[110]	N－S	10区B１面
7	X290, Y60・61	5.50	N12, S10	N77.19, S77.00	34.54	35～47	18～27	N－S	10区B１面
8	X290, Y60・61	5.84	N7., S10	N77.06, S77.00	10.27	32～47	15～21	N－S	10区B１面
9	X278, Y60～64	15.39	N４, S10	E77.22, S77.13	5.84	38～60	11～25	N－S	10区A１面
10	X279・280, Y64	14.40	N17, S15	N77.04, S77.01	2.08	73～80	27～40	N－S	10区A１面
11	X306, Y60～64	16.03	N２, S４	N76.94, S76.90	2.49	55～107	28～56	N－S	10区C１面
12	X307・308, Y60・63	16.06	N６, S３	E76.92, S76.89	1.86	39～55	15～25	S－N	10区C１面
13	X311, Y60～63	15.55	N4.5, S４	N76.89, S76.85	2.57	56～65	15～22	N－S	10区C１面
14	X313～315, Y60～63	17.35	N５, S８	N76.86, S76.80	3.45	40～78	10～23	N－S	10区C１面
15	X318・319, Y59～63	16.04	N11, S12	N76.73, S76.69	2.49	30～63	10～10.5	N－S	10区D１面
16	[X318, Y61～63]	[6.85]	[N４, S５]	[N76.80, S76.76]	[5.83]	[15～40]	[８～17]	[N－S]	10区D１面
17	X322, Y59～62	11.15	N5.5., S3.5	N76.74, S76.72	1.79	75～120	22～61	S－N	10区D１面
18	X333, Y59～63	15.92	N34, S27	E76.35, S76.30	3.14	134～176	30～62	N－S	10区D１面
19	X333, Y59～61	8.18	N４, S2.5	N76.66, S76.61	1.06	25～35	９～11	N－S	10区D１面
20	X272, Y62・63	2.96	N３, S13	N77.06, S76.95	37.16	28～39	15～20	N－S	10区A２面２トレ
21	X284, Y62	3.05	N11.5, S6.5	N76.86, S76.92	19.67	38～50	８～10	S－N	10区A２面２トレ
22	X299・300, Y62・63	4.0	N10, S９	N76.74, S76.72	5.00	122～130	82～95	S－N	10区C２面４トレ

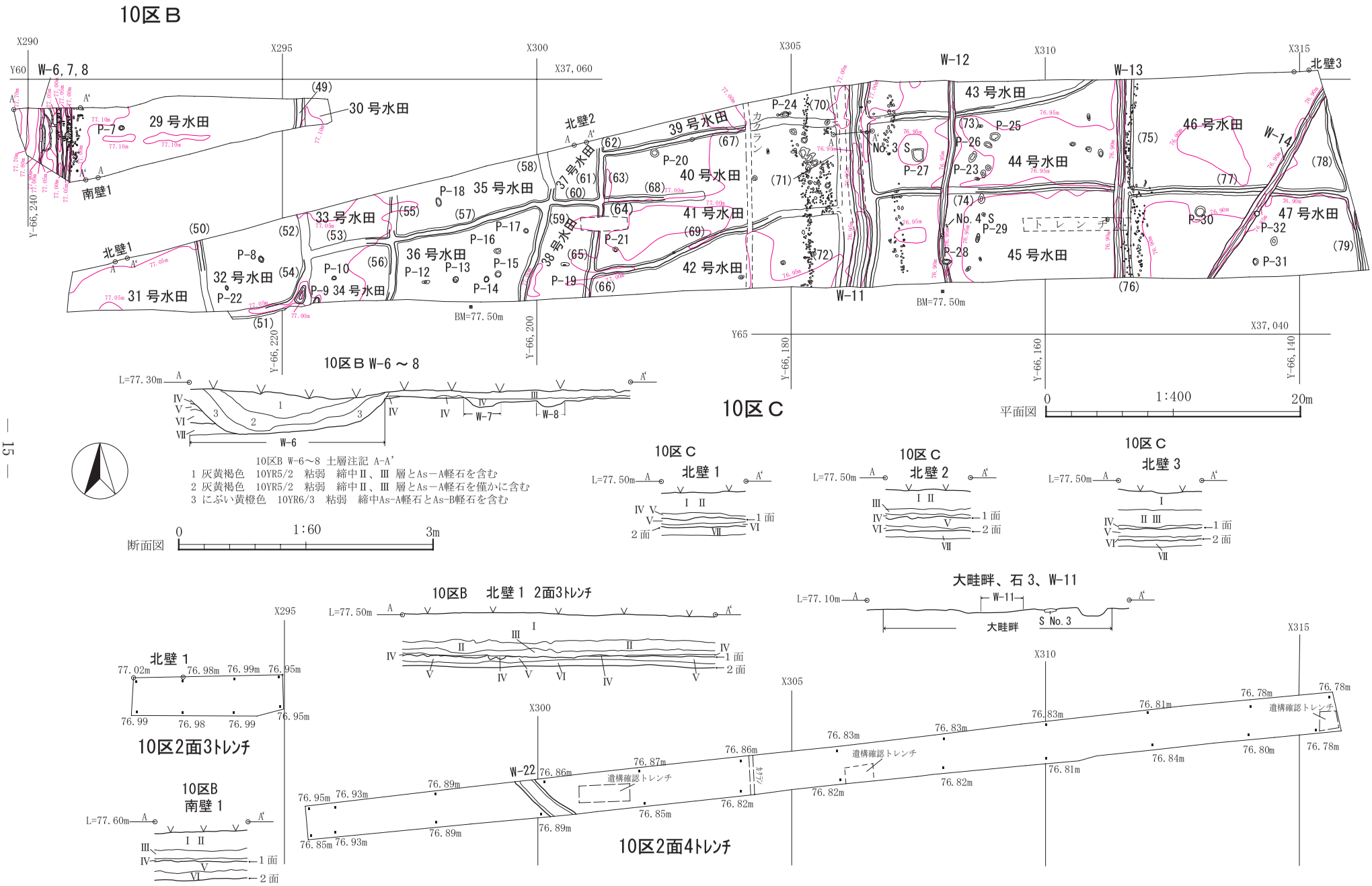
W－９, 11, 19は大畦畔上にあり。

第10表　ピット計測表　　（　）は推定値、［　］は検出値を表す。

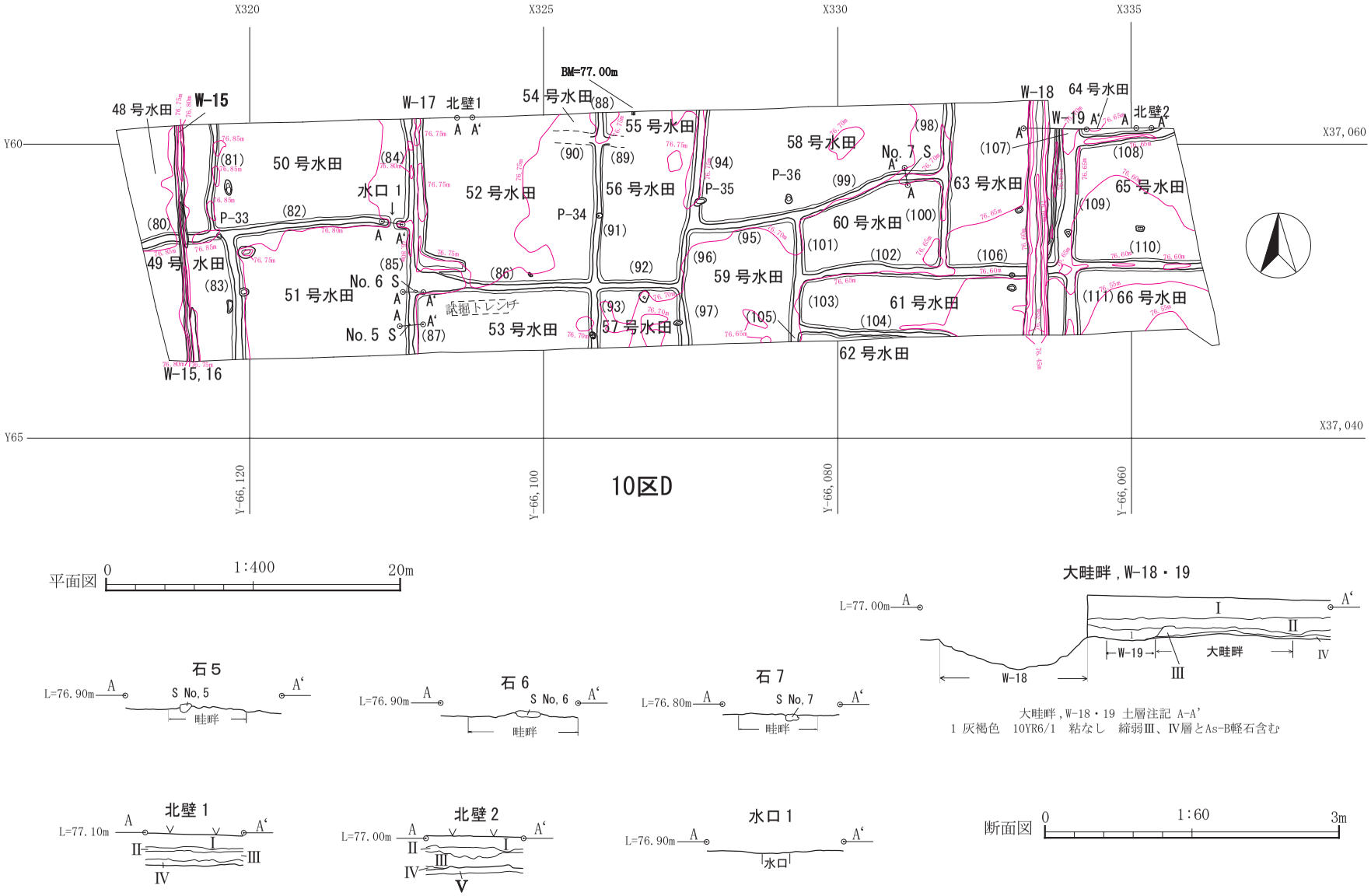
ピット番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形　状	備　考
P－１	X264, Y64	61	57	12	楕円形	10区A１面
P－２	X273, Y62	36	16	37	不定形	10区A１面
P－３	X273・274, Y63	30	15	13	不定形	10区A１面
P－４	X285, Y61	40	37	12	円形	10区A１面
P－５	X285・286Y61	62	55	27	楕円形	10区A１面
P－６	X280Y61	72	48	21	楕円形	10区A１面
P－７	X291, Y60	42	37	8	楕円形	10区B１面
P－８	X294, Y63	52	40	10	楕円形	10区C１面
P－９	X295, Y64	(50)	45	24	楕円形	10区C１面
P－10	X293, Y64	40	32	18	楕円形	10区C１面
P－11	X283, Y63	67	52	19	楕円形	10区A１面
P－12	X297, Y63・64	55	23	13	楕円形	10区C１面
P－13	X298, Y63	44	40	5	ほぼ円形	10区C１面
P－14	X298・299, Y63	50	38	9	ほぼ円形	10区C１面
P－15	X299, Y63	51	50	17	円形	10区C１面
P－16	X299, Y63	54	42	13	楕円形	10区C１面
P－17	X299, Y62・63	40	38	14	円形	10区C１面
P－18	X298, Y62	70	40	15	楕円形	10区C１面
P－19	X300, Y63	67	28	19	楕円形	10区C１面
P－20	X302, Y61	67	65	14	円形	10区C１面
P－21	X301, Y63	42	37	12	楕円形	10区C１面
P－22	X293, Y64	38	17	8	楕円形	10区C１面
P－23	X308, Y61	95	50	16	楕円形	10区C１面
P－24	X304, Y60	70	50	17	楕円形	10区C１面
P－25	X308・309, Y61	80	65	12	楕円形	10区C１面
P－26	X308, Y61	69	41	18	楕円形	10区C１面
P－27	X307, Y61	103	91	23	楕円形	10区C１面
P－28	X307・308, Y63	70	40	21	楕円形	10区C１面
P－29	X308, Y63	69	27	15	楕円形	10区C１面
P－30	X312・313, Y62	83	82	18	円形	10区C１面
P－31	X314, Y63	60	44	17	楕円形	10区C１面
P－32	X314, Y63	71	50	11	楕円形	10区C１面
P－33	X319, Y61	43	34	14	楕円形	10区D１面
P－34	X325, Y61	44	35	14	楕円形	10区D１面
P－35	X327, Y60・61	90	47	10	楕円形	10区D１面
P－36	X329, Y60	65	48	36	楕円形	10区D１面
P－37	X264, Y62	30	27	11.5	楕円形	10区A２面２トレ
P－38	X267, Y62	28	23	10	楕円形	10区A２面２トレ
P－39	X270, Y62	40	33	45	楕円形	10区A２面２トレ
P－40	X276, Y62	23	20	10	楕円形	10区A２面２トレ
P－41	X283, Y62	30	25	8	楕円形	10区A２面２トレ
P－42	X284, Y62	22	21	5	円形	10区A２面２トレ
P－43	X284, Y62	55	53	21	円形	10区A２面２トレ
P－44	X284, Y62	[49]	35	7	楕円形	10区A２面２トレ
P－45	X284, Y62	40	35	4	楕円形	10区A２面２トレ
P－46	X284, Y63	[15]	[10]	[５]	楕円形	10区A２面２トレ



第６図　10区Ａ１面、２面２トレンチ実測図



第７図　10区Ｂ・Ｃ１面、２面３・４トレンチ実測図



第８図　10区Ｄ１面実測図

⑶　11区１面Ａ・Ｂ・Ｃ、11区２面　５・６・７トレンチ〔第９～11図、図版５～７〕

調査区の南側に位置する。１面で検出した遺構はAs-B水田、溝、ピット、土坑などがある。遺構の確認面は、現地表から18～43㎝下である。As-B水田は、浅間Ｂ軽石が２～５㎝程の厚さで検出され、その下からＡ・Ｂ・Ｃ調査区で水田跡が計31面検出された。区画の規模は［0.09～82.22］㎡を測る。また、区画する畦畔は全体で計44本検出され上幅［13～250］㎝、下幅［30～281］㎝を測り、そのうちのＢ調査区４・５号畦畔、Ｃ調査区31・32号畦畔は大畦畔である。水田面の標高は、11区Ａの１号水田の標高76.39m～11区Ｃの30号水田の標高75.92mで比高差47㎝を測り、１号水田から30号水田への配水が考えられる。また、水口はＢ調査区で２ヵ所検出された。Ａ・Ｂ調査区では圃場整備や耕作機械等による掘削のため、遺構面までその痕跡が残る状況が見られる。溝はＡ・Ｂ・Ｃ調査区で、Ｗ―１～10号までの10条検出しＷ―１・６号を除き、いずれも南北方向に位置し、Ｗ―２・６・７・10号はAs-B軽石で埋まっている。また、Ｗ―２・10号は大畦畔に伴う溝である。その他の溝はAs-Bテフラ層を掘り込むものや圃場整備以前のものと思われる。ピットは、Ｂ・Ｃ調査区、５トレ調査区で、計７基（Ｐ―６号は欠番）検出し、Ｐ―７号は、As-B軽石で埋まっていた。その他はAs-B軽石を多く含むものや、As-A軽石の混入するもので中世から近世と思われる。土坑は、Ｃ調査区で１基検出されたが、近代の鉄片を伴うもので新しい。２面では、１面から18～22㎝下のAs-C軽石を含む混土層を確認面とした。検出した遺構は、11区５トレからＷ―11号を検出した。圃場整備や耕作機械等の痕跡が残るため時期等は、はっきりしないが一部壁面からは、As-Bテフラ層からの掘り込みが推測される。ピットは、11区５トレからＰ―８号を検出した。覆土にAs-C軽石を含む。

11区１面Ａ・Ｂ・Ｃ、２面５・６・７トレの各遺構の計測値は、計測表にまとめて報告する。

第11表　水田計測表　　（　）は推定値、［　］検出値を表す。

水田No.	面積(㎡)	東畦(m)	西畦(m)	南畦(m)	北畦(m)	備　　考
1	[16.18]			[13.70]		11区Ａ１面
2	(20.66)	[0.42]			[13.70]	11区Ａ１面
3	[0.51]		[0.42]			11区Ａ１面
4	[68.46]	[3.27]		[14.83]		11区Ｂ１面　東側大畦畔
5	[37.54]	[4.76]			[14.83]	11区Ｂ１面　東側大畦畔
6	(27.08)	[4.91]		[5.90]		11区Ｂ１面
7	(98.05)	[3.08]			[5.90]	11区Ｂ１面　Ｗ―２～７と重複
8	[96.59]	[2.16]	[7.99]	[11.34]		11区Ｂ１面　Ｗ―７と重複
9	[1.55]		[1.55]	[4.65]		11区Ｂ１面
10	[55.08]	[7.94]			[15.99]	11区Ｂ１面
11	[12.25]	[2.15]	[1.86]	[7.95]		11区Ｂ１面
12	(12.49)	[3.62]	[2.51]	[5.47]		11区Ｂ１面
13	(64.27)	[4.53]	[6.06]		[13.42]	11区Ｂ１面
14	(52.15)	[8.14]	[8.15]			11区Ｂ１面
15	(21.10)	[2.85]	[3.08]	10.40		11区Ｂ１面　Ｗ―８重複
16	[51.41]	[5.82]	[5.06]		10.40	11区Ｂ１面　Ｗ―８重複
17	[1.83]		[1.24]	[11.86]		11区Ｂ１面
18	[89.17]	[7.53]	[5.82]		[11.86]	11区Ｂ１面
19	[5.25]		[7.53]			11区Ｂ１面
20	[1.89]			[3.82]		11区Ｃ１面
21	[30.89]	[1.35]		[12.35]	[3.82]	11区Ｃ１面
22	[68.99]	[7.47]			[15.71]	11区Ｃ１面　東側大畦畔
23	[78.92]	[3.55]	[6.18]	18.59		11区Ｃ１面　西側大畦畔
24	[41.89]	[4.28]	[1.68]		18.59	11区Ｃ１面　西側大畦畔
25	[82.22]	[7.84]	[7.83]			11区Ｃ１面
26	[67.49]	[7.38]	[7.84]	[10.55]		11区Ｃ１面
27	[28.49]	[8.16]	[5.96]	5.05		11区Ｃ１面
28	[2.78]		[4.04]	[1.39]		11区Ｃ１面
29	[6.03]	[1.59]	[1.88]		5.05	11区Ｃ１面
30	[12.35]		[5.71]		[1.39]	11区Ｃ１面
31	[0.09]				(10.55)	11区Ｃ１面　南壁側に僅かに水田面検出

第12表　畦畔計測表　（　）は推定値、［　］は検出値、Ｅ―Ｗ―Ｎ―Ｓは東西南北を表す。

畦畔No.	グリッド	上　幅(cm)	下　幅(cm)	畦畔の高さ(cm)				走行	備　考
				北　側	南　側	東　側	西　側		
1	X288～291, Y117	[17～19]	[58～62]	[0.5～1.5]	[1.0～4.5]			Ｅ―Ｗ	11区Ａ１面
2	X291, Y117		[89]			[0.5]		Ｎ―Ｓ	11区Ａ１面

畦畔№	グリッド	上　幅(cm)	下　幅(cm)	畦畔の高さ(cm)				走行	備　考
				北　側	南　側	東　側	西　側		
3	X303～307, Y117・118	[28～37]	[47～80]	[2.5～6.0]	[1.0～7.0]			E－W	11区B１面
4	X306・307, Y116～118	[135～165]	[165～200]			[1.5]	[1.0]	N－S	11区B１面
5	X307, Y117・118	[150～170]	[158～210]			[0.5～3.5]	[1.0～6.0]	N－S	11区B１面
6	X310～312, Y117	[26～36]	[60～73]	[0.5～2.0]	[0.5～1.5]			E－W	11区B１面
7	X312, Y116・117	[29～30]	[72～95]			[0.5～3.0]	[0.5～3.0]	N－S	11区B１面
8	X312, Y117・118	[27～28]	[67～80]			[0.5～1.0]	[1.0～2.0]	N－S	11区B１面
9	X314～316, Y116～118	[20～45]	[55～77]	[0.5～2.0]	[1.0～2.5]			E－W	11区B１面
10	X316, Y116	[77～102]	[107～127]			[1.5～2.5]	[2.0～2.5]	N－S	11区B１面
11	X316・317,116	[55～70]	[84～104	[0.5～1.0]	[1.5～3.0]			E－W	11区B１面
12	X317, Y116	[60～72]	[90～110]			[0.5～1.0]	[2.5～3.0]	E－W	11区B１面
13	X317～319, Y116	33～57	63～86	1.0～2.5	2.0～3.0			E－W	11区B１面
14	X317・318, Y116～118	[52～84]	[85～123]			[3.0～3.5]	[1.0～3.0]	N－S	11区B１面
15	X319・320, Y116	[33～45]	[72～83]			[1.5～2.5]	[0.5～2.0]	N－S	11区B１面
16	X319～321, Y116・117	[33～41]	[62～74]	[1.5～2.5]	[0.5～2.0]			E－W	11区B１面
17	X321, Y116・117		(52～62)					N－S	11区B１面
18	X321, Y117・118		(70～75)					N－S	11区B１面
19	X323, Y116	[31～43]	[71～93]			[1.0～2.0]	[1.5～2.0]	N－S	11区B１面
20	X322・323, Y117・118	[35～50]	[78～91]			[3.0～4.0]	[0.5]	N－S	11区B１面
21	X323～325, Y116	[17～33]	[58～78]	[0.5～2.5]	[0.5～3.0]			E－W	11区B１面
22	X325, Y116～118	[42～60]	[60～80]			[1.0～1.5]	[0.5]	N－S	11区B１面
23	X325, Y116	[45～80]	[70～110]			[0.5]	[0.5～1.0]	N－S	11区B１面
24	X325・326, Y116		(79～83)			[0.5]	[0.5]	N－S	11区B１面
25	X325～328, Y116	[18～46]	[52～85]	[0.5～2.0]	[1.0～3.5]			E－W	11区B１面
26	X328・329, Y116・117	[22～37]	[45～68]			[1.0～4.0]	[0.5～2.5]	N－S	11区B１面
27	X331・332, Y115・116	[20～35]	[43～65]	[0.5～2.5]	[0.5～2.0]			N－S	11区C１面
28	X331～334, Y116・117	[13～63]	[30～101]	[1.5～3.5]	[2.0～4.5]			N－S	11区C１面
29	X334, Y115・116	(433)	(484)			[1.0～2.5]	[2.0～4.0]	N－S	11区C１面
30	X334・335, Y115・116	[103～175]	[121～188]					N－S	11区C１面
31	X335, Y115～117	[240～249]	[255～281]			[1.0～1.5]	[5.5]	N－S	11区C１面
32	X335, Y117	[250]	[285]			[2.0～2.5]	[3.0～3.5]	N－S	11区C１面
33	X335～340, Y116・117	[44～55]	[84～120]	[1.0～3.0]	[2.0～4.5]			E－W	11区C１面
34	X340, Y115・116	[55～58]	[110～118]			[1.0～4.0]	[1.0～3.5]	N－S	11区C１面
35	X340,116・117	[45～65]	[105～120]			[1.5～3.5]	[0.5～2.0]	N－S	11区C１面
36	X343, Y115～117	[140～158]	[178～210]			[1.0～4.5]	[0.5]	N－S	11区C１面
37	X343～346, Y117	[27～32]	[57～63]	[0.5～4.0]	[1.0]			E－W	11区C１面
38	X345・346, Y115・116	[27～55]	[65～95]			[2.0～3.5]	[0.5～1.0]	N－S	11区C１面
39	X345・346, Y116・117	[25]	[63]			[4.0]	[0.5]	N－S	11区C１面
40	X346, Y116・117	[20～33]	[48～60]	[0.5～4.0]	[0.5～2.0]			E－W	11区C１面
41	X347, Y114・115	(31～41)	[75～80]			[2.0～4.5]	[2.0～4.0]	N－S	11区C１面
42	X347, Y115	[25～50]	[65～93]	[3.0～4.0]	[2.0～3.0]			E－W	11区C１面
43	X347, Y115・116	[36～37]	[75～81]			[1.5～4.0]	[0.5～1.5]	N－S	11区C１面
44	X347, Y116・117	[35～43]	[67～84]			[2.5～3.0]	[1.0～1.5]	N－S	11区C１面

№３東側大畦畔、№４、５、31、32大畦畔。№29東側大畦。№６水口あり。№21W－８と重複

第13表　溝計測表　　[　]は検出値、E－W－N－Sは東西南北を表す。

溝№	遺構位置	長さ(m)	深さ(cm)	底のレベル(m)	勾配(‰)	上幅(cm)	下幅(cm)	流水方向	備　考
1	X288～290, Y117	7.78	W10.5, E4.5	E76.30, W76.27	3.85	22～82	10～30	E－W	11区A１面
2	X307, Y116～118	8.10	N2.5, S3.5	N76.30, S76.26	4.93	29～40	9～16	N－S	11区B１面
3	X307・308, Y116～118	[8.15]	[N22.5, S18.5]	[N76.21, S76.02]	[23.31]	[60～130]	[45～113]	N－S	11区B１面
4	X307～308, Y116～118	[8.08]	[N42, S37]	[N75.96, S75.90]	[7.42]	[130～450]	[30～45]	[N－S]	11区B１面
5	X308, Y116・117	[2.5]	[N16]	[N76.10]		[67]			11区B１面
6	X308～311, Y116～118	15.30	N3.5, S６	N76.21, S76.18	1.96	39～47	12～24	N－S	11区B１面
7	X313, Y116・118	7.90	N3.5, S2.5	N76.22, S76.21	0.65	67～92	24～45	[N－S]	11区B１面
8	X324, Y116・117	7.92	N14.5, S13	N76.02, S75.99	3.78	45～60	18～23	[N－S]	11区B１面
9	X335, Y115～117	7.85	N33, S38	N75.64, S75.60	5.09	134～160	15～30	N－S	11区C１面
10	X342, Y115～117	7.95	N5.5, S４	N76.05, S76.02	3.77	107～116	42～59	N－S	11区C１面
11	X276・277, Y118	3.8	N10, S14	N76.01, S75.97	10.52	55～70	38～48	S－N	11区A１面５トレ

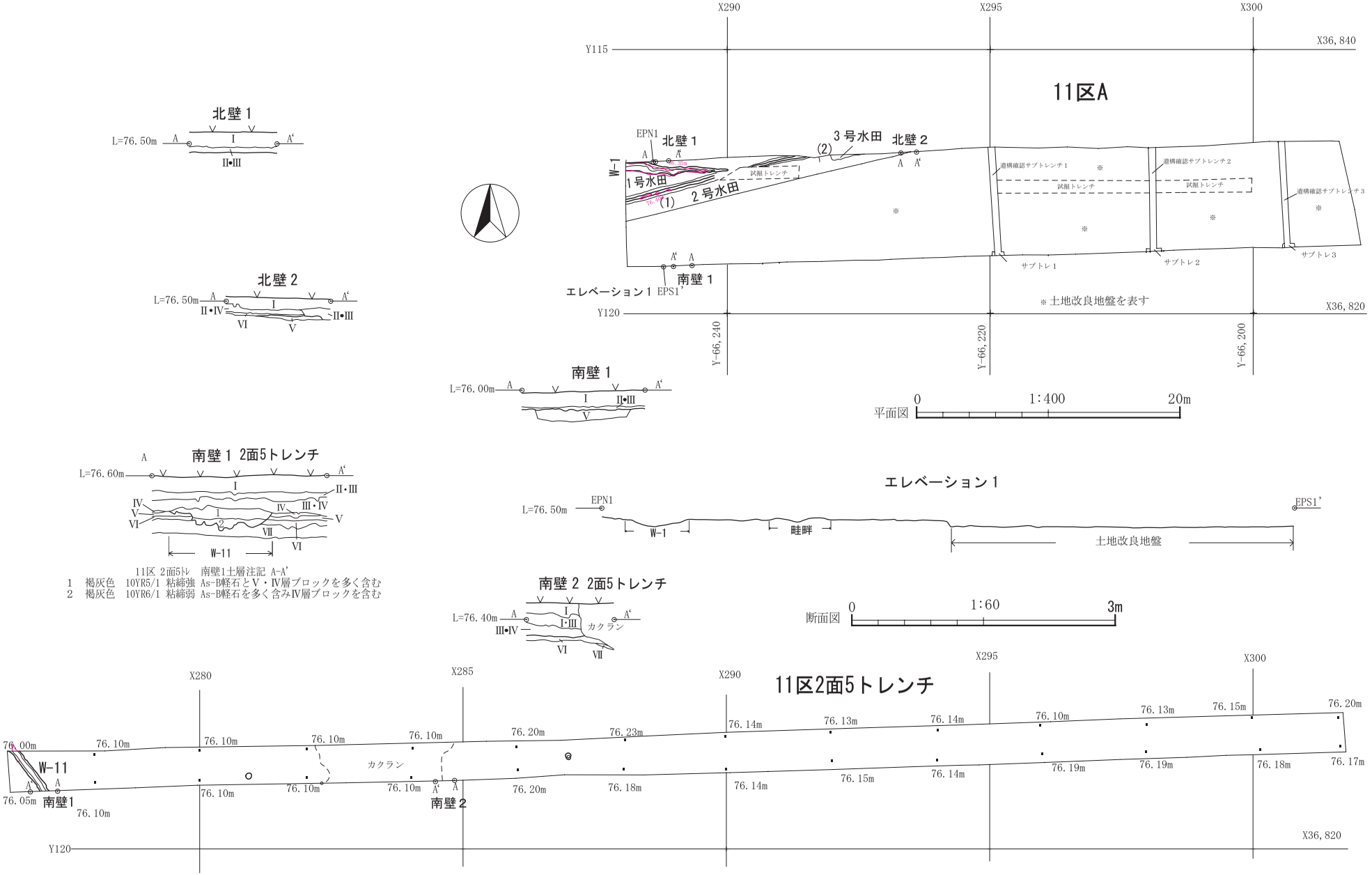
W－２は大畦畔の溝。W－３～５は並行し重複している。

第14表　ピット計測表　　(　)は推定値、[　]は検出値を表す。

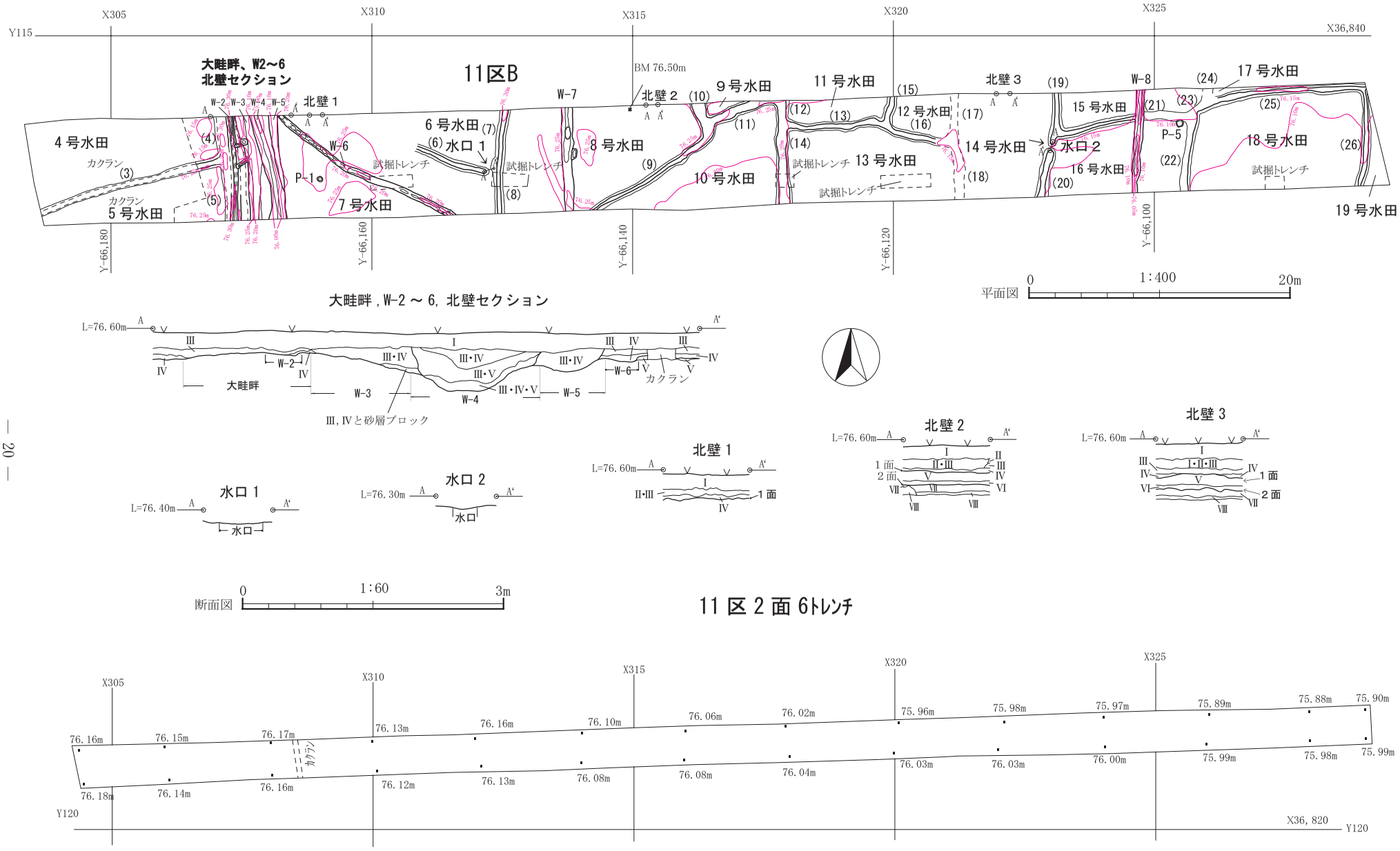
ピット番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形　状	備　考
P－１	X308・309, Y117	46	31	10	楕円形	11区B１面
P－２	X337, Y116	60	45	21	楕円形	11区C１面
P－３	X341, Y115	[55]	[25]	[９]	(楕円形)	11区C１面
P－４	X364, Y116・117	66	58	15	楕円形	11区C１面
P－５	X325, Y116	60	55	38	楕円形	11区B１面
P－６	欠番					
P－７	X280, Y118	45	43	15	円形	11区A２面５トレ
P－８	X286・287, Y118	50	38	16	楕円形	11区A２面５トレ

第15表　土坑計測表　　[　]検出値を表す。

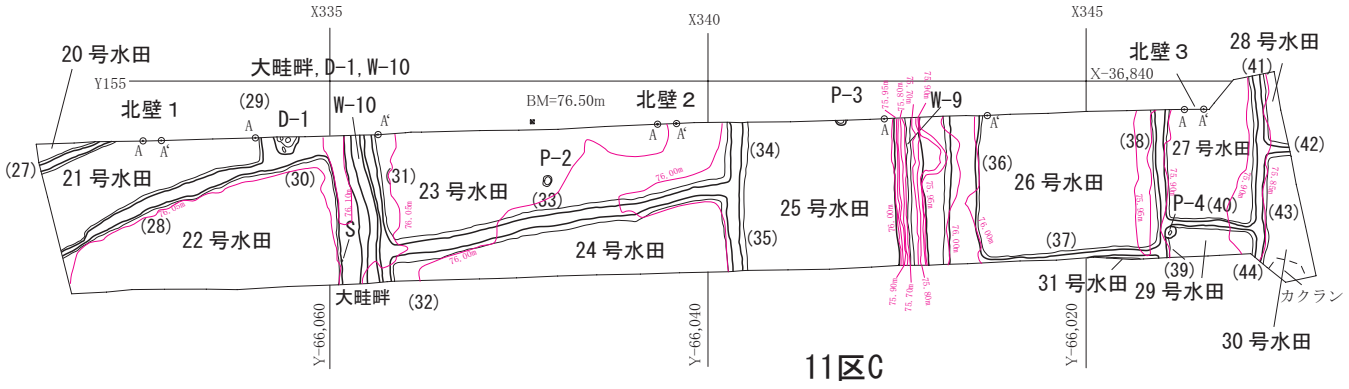
土坑番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形　状	備　考
D－１	X335, Y115	[122]	[90]	47	北側調査区外	11区C１面



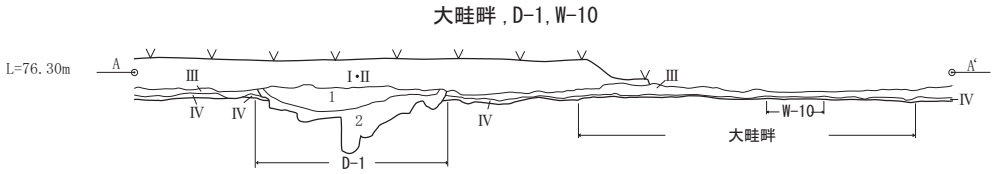
第９図　11区Ａ１面、２面５トレンチ実測図



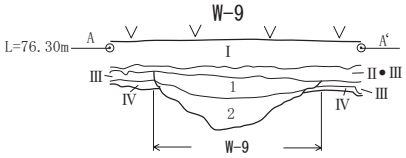
第10図　11区Ｂ１面、２面６トレンチ実測図



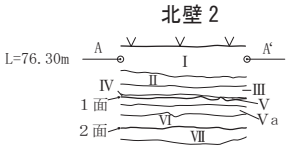
平面図 0 1:400 20m



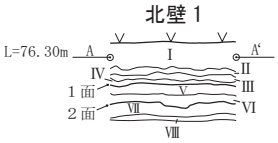
11区 C1面　大畦畔、W-10、D-1北壁土層注記 A-A'
1 灰黄褐色　10YR5/2　粘締中 As-A軽石（φ1～3mm）を3%含む
2 灰黄褐色　10YR5/2　粘締中 I・II層にIV、V層ﾌﾞﾛｯｸ含む



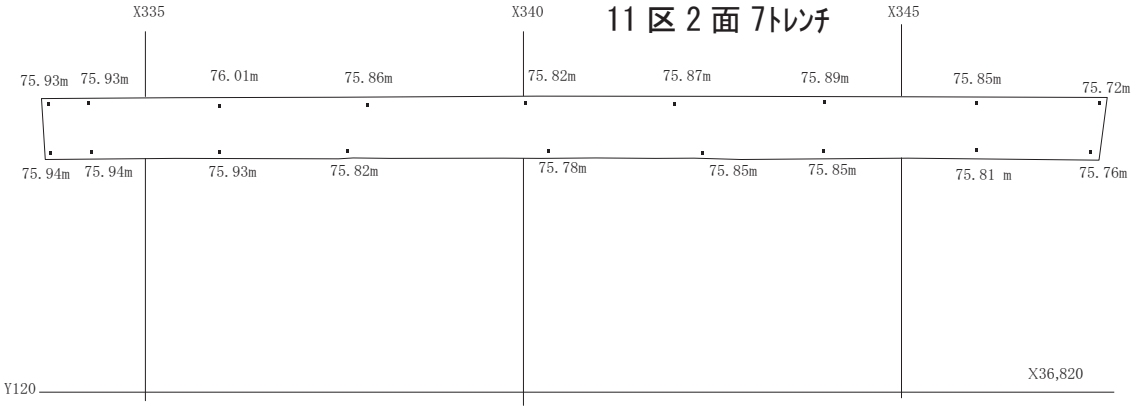
W-9 土層注記A-A'
1 褐灰色土10YR4/1 粘締中 II・III層を含む
2 褐灰色土10YR4/1 粘締中 II層を多く含みIII層を含む



北壁 2 土層注記 A-A'
Va　V層より As-C 軽石（φ1 ～ 2mm）を多く含む



断面図 0 1:60 3m



第11図　11区Ｃ１面、２面７トレンチ実測図

⑷　12区１面、12区２面　８・９トレンチ〔第12・13図、図版８・９〕

調査区は、西側の12区１面とその北側に８トレ、南側に９トレに分かれて位置する。１面で検出した遺構はAs-B水田、溝、２面はピット、土坑などがある。１面の遺構確認面は、現地表から22～45㎝下である。As-B水田は８トレ内で浅間Ｂ軽石が２～５㎝程の厚さで検出され、その下から水田跡が10面検出された。区画の規模は［1.33～42.72］㎡を測る。また、区画する畦畔は全体で計11本検出され上幅［14～102］㎝、下幅［37～139］㎝を測り、水田面の標高は、12区８トレ１号水田の標高77.97m～10号水田の標高77.65mで比高差32㎝を測り、１号水田から10号水田への配水が考えられる。また、水口等は検出されなかった。溝は12区１面、12区１面８・９トレ内で、W－２～９号（W－１・W－７号は欠番）までの７条検出しW－５・６・９号の東西方向を除き、いずれも北西か、北東方向からである。また、W－４・５・８・９号はAs-B軽石で埋まっている。その他の溝はAs-Bテフラ層を掘り込むものや、圃場整備以前のものと思われる。さらに欠番としたW－１号（規模、幅402～503㎝、深さ32～33㎝）は、検出時As-B軽石の堆積することで溝としたが、流水時に堆積する砂層等が見られないことや、２面の調査では、南側が微高地状でピット、土坑等の検出があることで、谷地状の落ち込みと推測した。２面では、１面から12～16㎝下のAs-C軽石を含む混土層を確認面とした。検出した遺構は、12区９トレからP－１～７号とD－１・２号を検出した。そのなかでP－４号（№12）からは、４世紀後半と思われる土器片が出土した。また、土坑のD－１号（№14～16）・２号（№17）からは、４世紀～５世紀代に位置すると思われる土器の出土があった。いずれもAs-B軽石の検出されないところで、もともとは、微高地状であったことが推測され、水田は検出されなかった。

12区１面、12区２面８・９トレの各遺構の計測値は、計測表にまとめて報告する。

第16表　水田計測表　　［　］検出値を表す。

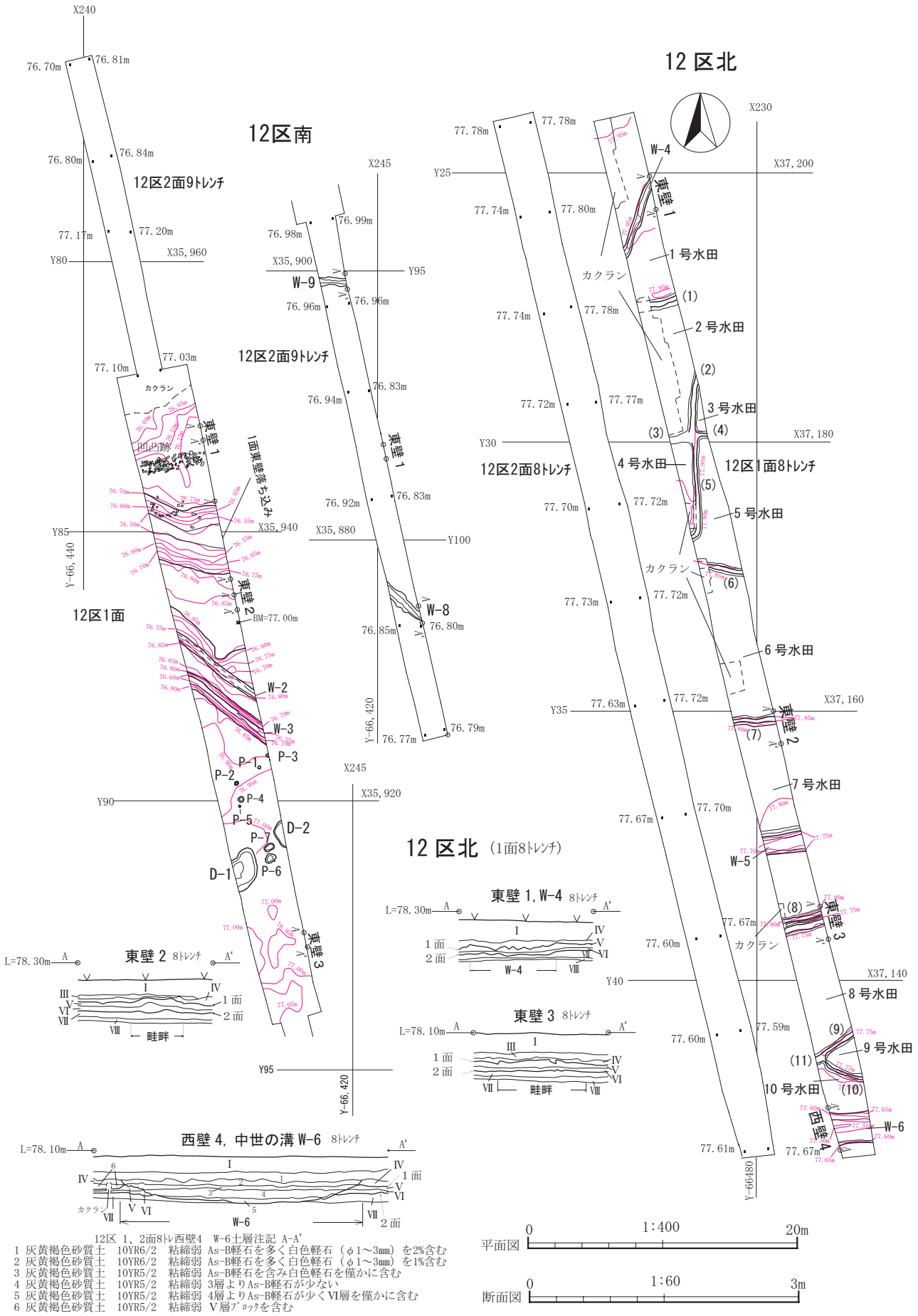
水田№	面積(㎡)	東畦(m)	西畦(m)	南畦(m)	北畦(m)	備　　考
1	[41.57]			[3.97]		12区１面８トレ(北側)　W－４と重複
2	[24.47]	[4.37]		[1.62]	[3.97]	12区１面８トレ(北側)
3	[1.33]		[4.37]	[1.09]		12区１面８トレ(北側)
4	[5.82]	[7.59]			[1.62]	12区１面８トレ(北側)
5	[18.28]		[7.59]	[3.32]		12区１面８トレ(北側)
6	[33.25]			[3.03]	[3.32]	12区１面８トレ(北側)
7	[42.72]			[2.98]	[3.03]	12区１面８トレ(北側)　W－５と重複
8	[25.91]			北東[3.34]	[2.98]	12区１面８トレ(北側)
9	[3.92]	北東[2.85]	北西[3.49]			12区１面８トレ(北側)
10	[17.37]	北東[0.49]	北西[3.49]			12区１面８トレ(北側)　W－６と重複

第17表　畦畔計測表　（　）は推定値、［　］は検出値、E－W－N－Sは東西南北を表す。

畦畔№	グリッド	上　幅(㎝)	下　幅(㎝)	畦畔の高さ(㎝)				走行	備　　考
				北　側	南　側	東　側	西　側		
1	X227・228, Y27	[29～31]	[77～88]	[1.0～2.5]	[3.5～4.5]			E－W	12区１面８トレ
2	X228, Y28・29	[30～35]	[54～65]			[1.0～2.5]	[1.5～2.5]	N－S	12区１面８トレ
3	X228, Y29・30		[52～75]					E－W	12区１面８トレ
4	X228・229, Y29	[21～25]	[55～60]	[2.0]	[4.0]			E－W	12区１面８トレ
5	X228, Y29～31	[16～25]	[42～70]			[4.5～7.0]	[3.0～5.0]	N－S	12区１面８トレ
6	X228・229, Y32	[24～27]	[57～67]	[1.0～3.0]	[3.5～7.5]			E－W	12区１面８トレ
7	X229・230, Y35	[22～38]	[60～75]	[2.5～5.0]	[5.0～7.0]			E－W	12区１面８トレ
8	X230・231, Y38・39	[99～102]	[130～139]	[1.0～2.0]	[1.5～2.5]			E－W	12区１面８トレ
9	X231, Y40・41	[20～28]	[44～70]	[1.5～2.5]	[4.0～5.0]			SW－NE	12区１面８トレ
10	X231, Y41	[14～24]	[37～57]			[2.0～2.5]	[4.0～5.0]	SE－NW	12区１面８トレ
11	X231, Y41	[50]	[75]	[2.5]	[1.5]			SW－NE	12区１面８トレ

第18表　溝計測表　（　）は推定値、［　］は検出値、E－W－N－Sは東西南北を表す。

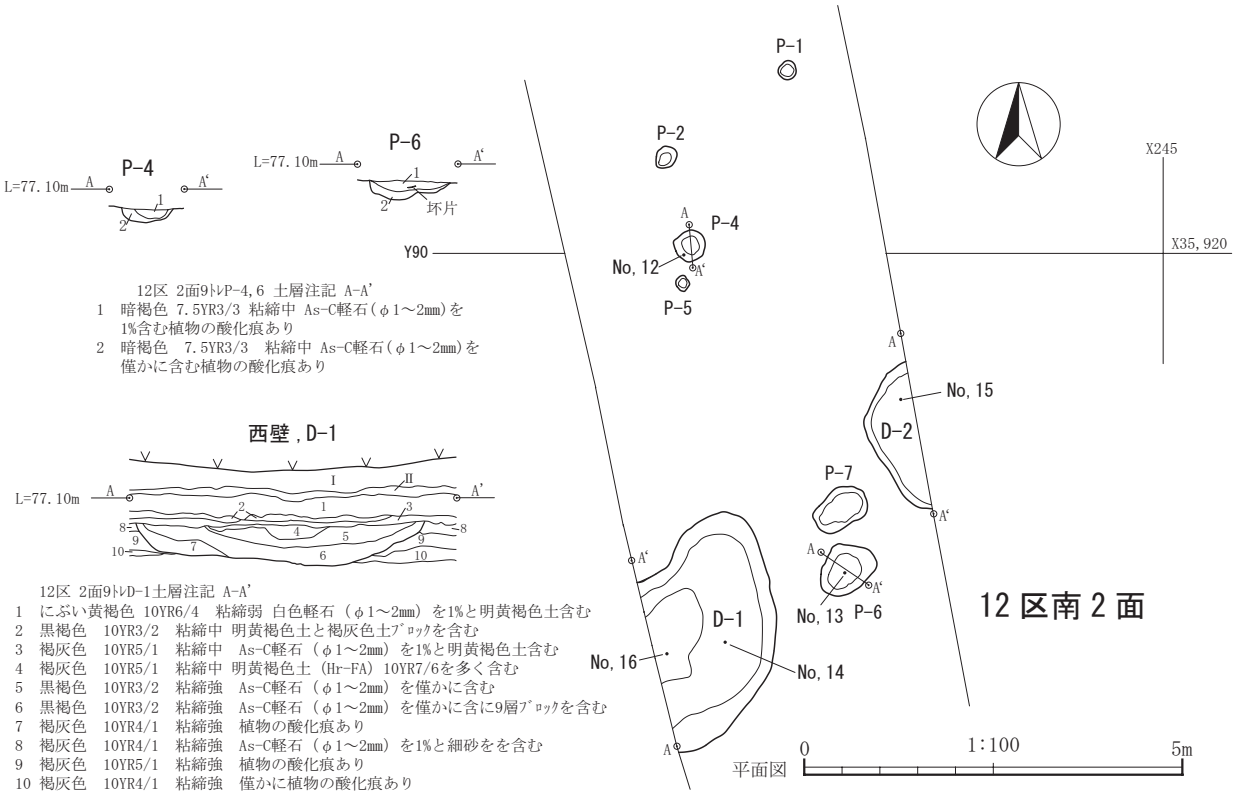
溝№	遺構位置	長さ(m)	深さ(㎝)	底のレベル(m)	勾配(‰)	上幅(㎝)	下幅(㎝)	流水方向	備　　考
1	欠番W－１谷地状になる								12区１面
2	X241～243, Y84～88	[7.98]	W6.5, E４	W76.77, E76.75	[2.50]	[53～58]	[24～25]	W－E	12区１面
3	X241～243, Y87・88	6.95	W24.5, E23.5	W76.57, E76.55	2.87	93～109	30～49	W－E	12区１面
4	X227・228, Y25・26	5.8	N８, S5.5	N77.87, S77.85	3.44	49～64	20～30	N－S	12区１面８トレ
5	X230, Y37	2.97	E8.5, W10	W77.71, E77.70	3.36	135～156	95～105	W－E	12区１面８トレ
6	X231・232, Y42・43	2.75	E11.5, W19	E77.55, W77.50	18.18	215～235	155～165	E－W	12区１面８トレ
7	欠番								
8	X225, Y100・101	3.15	E９, W13	W76.84, E76.83	3.17	80～105	40～80	W－E	12区１面９トレ
9	X243・244, Y95	1.95	E７, W8.5	W77.00, E76.99	5.12	53～65	17～25	W－E	12区１面９トレ



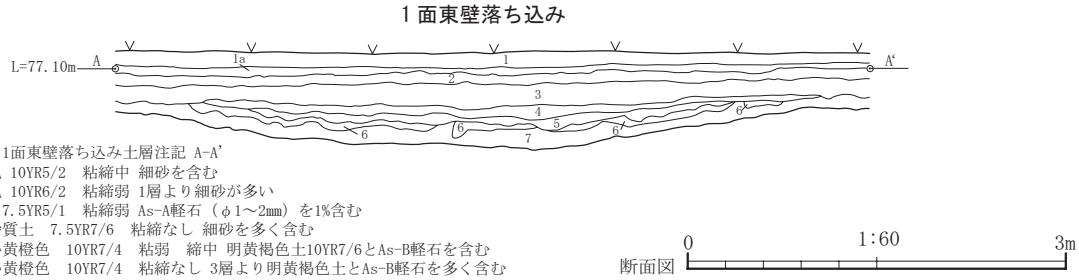
12区 1、2面8トレ西壁4 W-6土層注記 A-A'

1 灰黄褐色砂質土 10YR6/2 粘締弱 As-B軽石を多く白色軽石（φ1～3mm）を2%含む
2 灰黄褐色砂質土 10YR6/2 粘締弱 As-B軽石を多く白色軽石（φ1～3mm）を1%含む
3 灰黄褐色砂質土 10YR5/2 粘締弱 As-B軽石を含み白色軽石を僅かに含む
4 灰黄褐色砂質土 10YR5/2 粘締弱 3層よりAs-B軽石が少ない
5 灰黄褐色砂質土 10YR5/2 粘締弱 4層よりAs-B軽石が少くⅥ層を僅かに含む
6 灰黄褐色砂質土 10YR5/2 粘締弱 Ⅴ層ブロックを含む

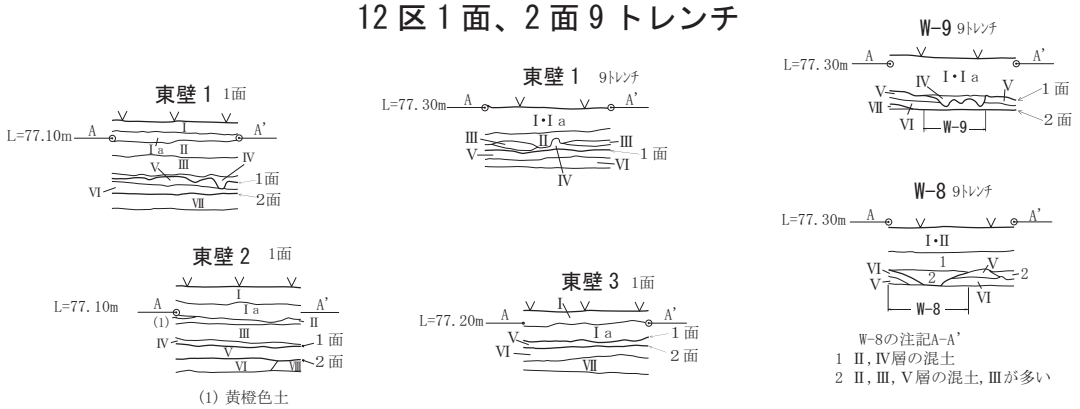
第12図　12区、１面８トレンチ、２面８・９トレンチ実測図



12区南1面



12区1面、2面9トレンチ



第13図 12区1面、2面9トレンチ実測図

第19表　ピット計測表　　（　）は推定値、［　］検出値を表す。

ピット番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形　状	備　　考
P－1	X243, Y89	25	22	25	ほぼ円形	12区２面９トレ
P－2	X242, Y89	33	27	14	楕円形	12区２面９トレ
P－3	X243, Y89	[29]	[20]	[10.5]	(楕円形)	12区２面９トレ東側調査区外
P－4	X242, Y89	44	44	11	円形	12区２面９トレ遺物出土
P－5	X242, Y90	23	23	10	円形	12区２面９トレ
P－6	X243, Y90・91	42	32	16	楕円形	12区２面９トレ遺物出土
P－7	X243, Y90	80	53	17	楕円形	12区２面９トレ

第20表　土坑計測表　　（　）は推定値、［　］検出値を表す。

土坑番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形　状	備　　考
D－1	X242・243, Y90・91	[221]	[182]	[38]	(楕円形)	12区２面９トレ西側調査区外
D－2	X243, Y90	[203]	[73]	[22.5]	(楕円形)	12区２面９トレ東側調査区外

⑸　13区２面　11・12・13トレンチ（10トレ欠番）〔第14図、図版９・10〕

調査区の、南西側に位置する。２面で検出した遺構は、溝１条がある。２面の遺構確認面は現地表から28～40cm下である。また、As-B テフラ層は12トレで８cm程の堆積が見られたが、その他は、圃場整備等で整地されていることで、11・13トレなどは検出されない部分がほとんどである。溝は、13区２面13トレで、W－１号を検出した。この溝は、11区５トレで検出したW－11号と同様に As-B 軽石を含み、北西から南東方向に見られるもので同じ溝と思われ、平安時代から中世頃と思われる。また、溝以外には、遺構の検出はなかった。

13区２面13トレの溝計測値は、計測表にまとめて報告する。

第21表　溝計測表　（　）は推定値、［　］は検出値、E－W－N－S は東西南北を表す。

溝No.	遺構位置	長さ(m)	深さ(cm)	底のレベル(m)	勾配(‰)	上幅(cm)	下幅(cm)	流水方向	備　　考
1	X280, Y124	3.5	N20, S8.5	N75.98, S75.97	2.85	[68]	[35]	(S－N)	13区２面13トレ

⑹　14区１面、14区２面14トレンチ〔第14図、図版10〕

調査区の南側に位置する。１面で検出した遺構は、As-B 水田、溝、土坑などがある。１面の遺構確認面は現地表から28～36cm下である。As-B 水田は浅間B軽石が２～５cm程の厚さで検出され、その下から水田跡が15面検出された。区画の規模は［2.07～48.19］㎡を測る。また、区画する畦畔は全体で計21本検出され、上幅17～［115］cm、下幅51～［120］cmを測り、水田面の標高は14区１面１号水田の標高75.89m～15号水田の標高75.63mで比高差26cmを測り、１号水田から15号水田への配水が考えられる。また、水口等は検出されなかった。溝は、W－１～３号までの３条検出しW－１号は、東から西へ向かいL字状に南方向へ曲がる。覆土は、As-B 軽石で埋まっている。その他の溝は、南北方向で、基本土層のII層から As-B テフラ層を掘り込んでいる、近世と思われるものである。土坑は１基検出した。As-B 軽石を多く、明黄褐色土を僅かに含むもので中世頃と思われる。２面では、１面から13～15cm下の As-C 軽石を含む混土層を確認面とし、遺構確認を行ったが遺構の検出はなかった。

14区１面の各遺構の計測値は、計測表にまとめて報告する。

第22表　溝計測表　　［　］は検出値、E－W－N－S は東西南北を表す。

溝No.	遺構位置	長さ(m)	深さ(cm)	底のレベル(m)	勾配(‰)	上幅(cm)	下幅(cm)	流水方向	備　　考
1	X349～351, Y131～134	14.30	E12.5, S12	E75.60, S75.57	2.09	39～47	13～20	E－S	14区１面
2	X343, Y131～134	9.35	N20.5, S21.5	N75.58, S75.57	1.06	69～75	28～35	N－S	14区１面
3	X342・343, Y131～134	8.95	N31.5., S27	N75.51, S75.50	[1.11]	110～136	40～58	N－S	14区１面

第23表　土坑計測表

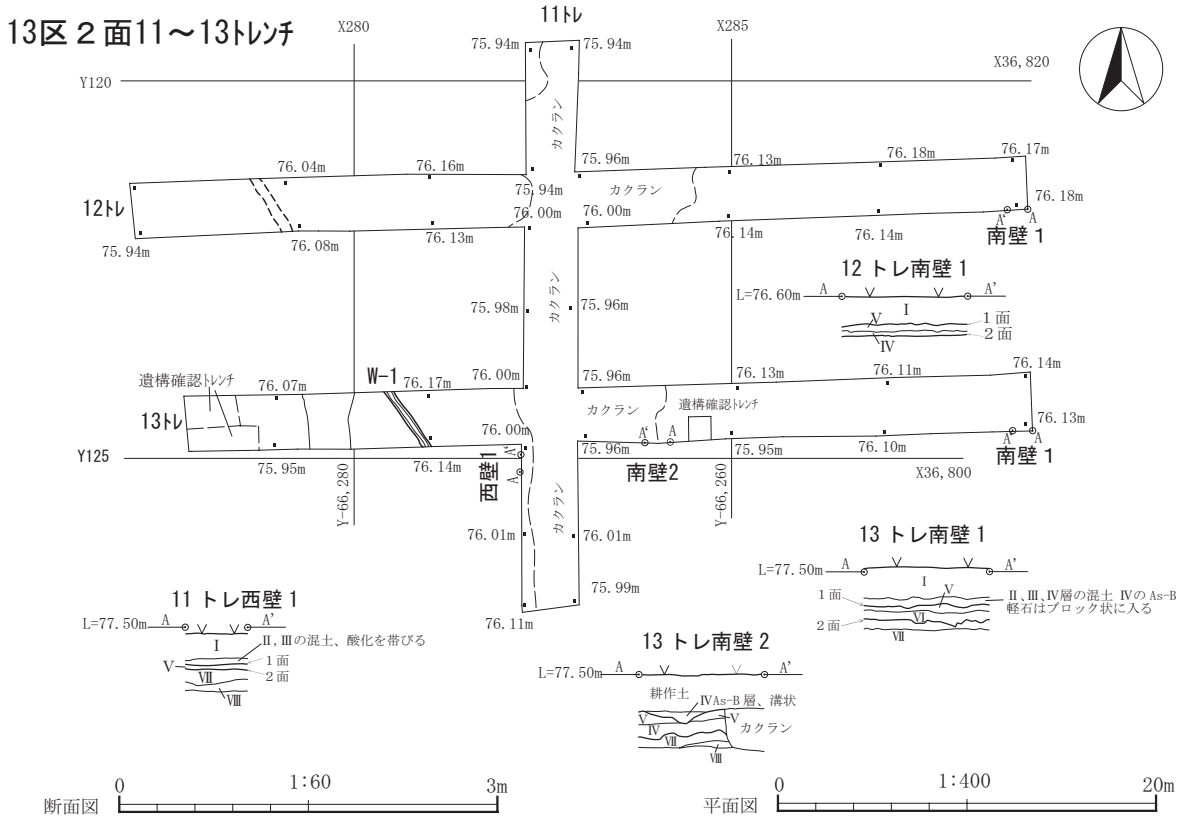
土坑番号	遺構位置	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	形　状	備　　考
D－1	X344・345, Y132	124	85	16	楕円形	14区１面

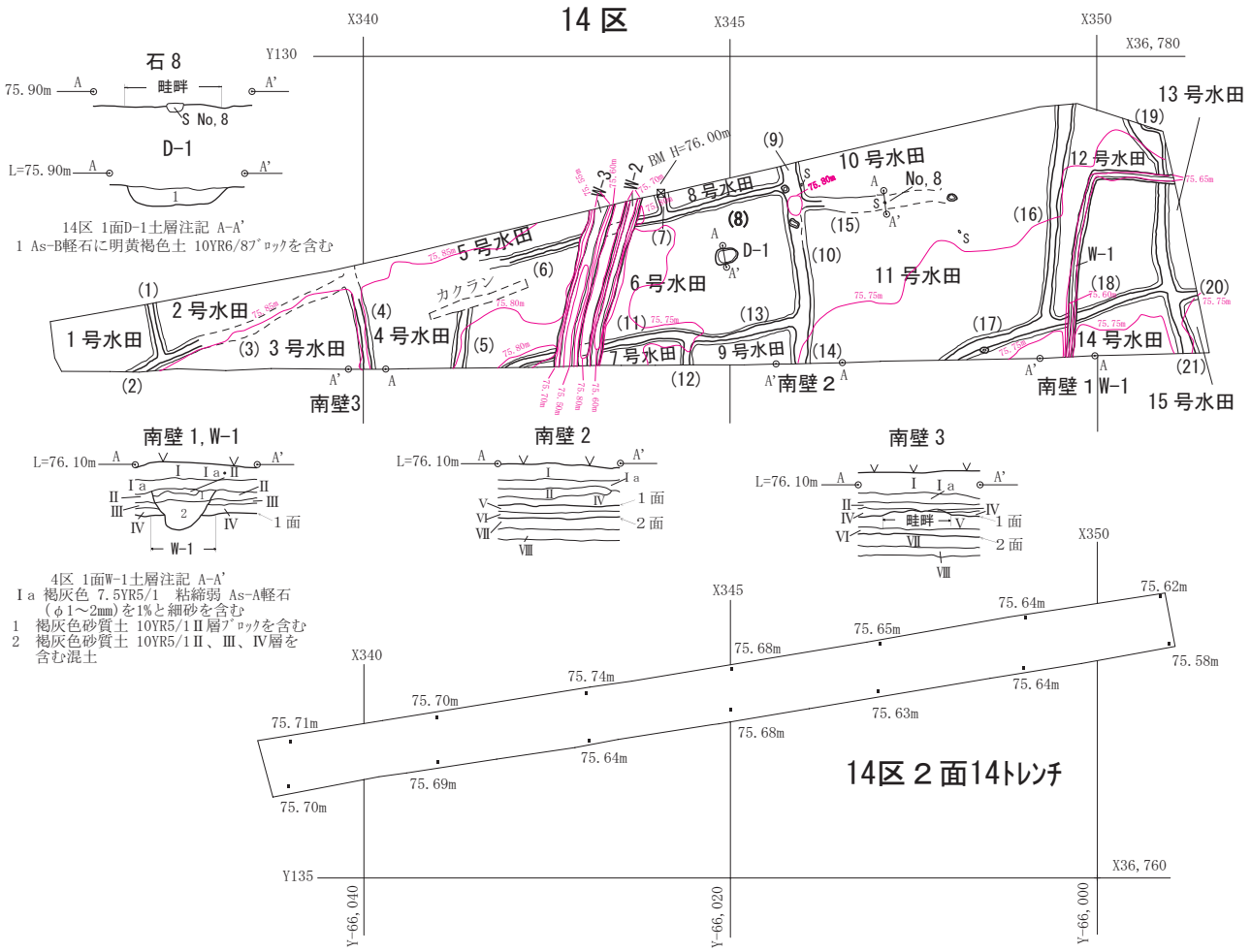
第24表　水田計測表　　（　）は推定値、［　］検出値を表す。

水田No.	面積(m²)	東畦(m)	西畦(m)	南畦(m)	北畦(m)	備　　考
1	[16.31]	[2.98]		[1.45]		14区1面
2	(17.27)	[0.62]	[2.98]	(11.15)		14区1面
3	(24.32)	[5.02]			[12.70]	14区1面
4	(32.05)	[3.19]	[5.80]			14区1面
5	(12.30)	[1.23]		(10.13)		14区1面
6	(102.72)	[7.30]	[3.19]	[16.30]	[17.40]	14区1面
7	[6.22]	[1.47]			[9.92]	14区1面
8	[4.81]	[1.16]	[1.23]	7.03		14区1面
9	[7.21]	[7.35]	[1.47]		6.38	14区1面
10	(43.73)	[3.52]	[2.20]	[8.50]		14区1面
11	(100.81)	[11.70]	[8.70]	[5.52]	(8.30)	14区1面
12	[48.19]	[9.37]	[11.70]	[6.95]		14区1面
13	[4.64]		[9.97]	[1.28]		14区1面
14	[19.35]	[3.75]			[12.50]	14区1面
15	[2.07]		[3.10]		[1.28]	14区1面

第25表　畦畔計測表　（　）は推定値、［　］は検出値、E－W－N－Sは東西南北を表す。

畦畔No.	グリッド	上　幅(cm)	下　幅(cm)	畦畔の高さ(cm)				走行	備　　考
				北　側	南　側	東　側	西　側		
1	X336・337, Y134	[35～39]	[75]	[3.5～4.5]	[4.0～4.5]			E－W	14区1面
2	X337, Y133・134	[24～30]	[60～74]			[1.0～1.5]	[2.5～3.0]	N－S	14区1面
3	X336～339, Y133・134	[27～35]	[60～75]	[1.5～4.5]	[1.5～4.5]			E－W	14区1面
4	X339・340, Y133・134	[30～36]	[70～75]			[1.5～2.5]	[1.0～2.5]	N－S	14区1面
5	X340, Y133・134	[39～49]	[75～80]			[2.0～3.5]	[1.0～1.5]	N－S	14区1面
6	X341～344, Y132	[22～30]	[54～56]	[1.0～1.5]	[1.0～1.5]			E－W	14区1面
7	X344, Y131・132	[30～40]	[66～75]			[1.0～1.5]	[0.5～1.0]	N－S	14区1面
8	X344・345, Y131・132	21～28	60～70	1.0～2.5	1.0～2.5			E－W	14区1面
9	X345, Y131	[78～115]	[80～120]			[0.5～1.5]	[0.5～1.5]	N－S	14区1面
10	X345・346, Y131～133	45～70	96～115			0.5～2.0	0.5～1.5	N－S	14区1面
11	X341～344, Y133・134	[30～44]	[57～74]	[0.5～2.0]	[0.5～2.0]			E－W	14区1面
12	X344, Y133・134	[35～36]	[68～70]			[1.0～4.0]	[0.5～1.0]	N－S	14区1面
13	X344・345, Y133	17～45	51～80	2.0～3.0	1.0～4.0			E－W	14区1面
14	X345・346, Y133・134	[52～65]	[102～120]			[1.0～2.5]	[1.0～3.0]	N－S	14区1面
15	X346・347, Y131・132	(32)	(75～82)	[0.5～2.0]	(0.5～1.5)			E－W	14区1面
16	X349, Y130～133	[35～72]	[70～105]			[0.5～3.0]	[0.5～1.0]	N－S	14区1面
17	X347～349, Y133・134	[37～55]	[72～95]	[1.0～1.5]	[3.0～3.5]			E－W	14区1面
18	X349・350, Y133	[25～35]	[60～72]	[0.5～1.0]	[1.5～3.0]			E－W	14区1面
19	X350・351, Y130～133	(30～110)	[60～150]			[1.0～1.5]	[1.0～3.0]	N－S	14区1面
20	X351, Y133	[26～40]	[60～80]	[2.0～5.5]	[2.0～4.0]			E－W	14区1面
21	X350・351, Y133・134	[54～56]	[92～103]			[0.5～3.5]	[0.5～2.0]	N－S	14区1面



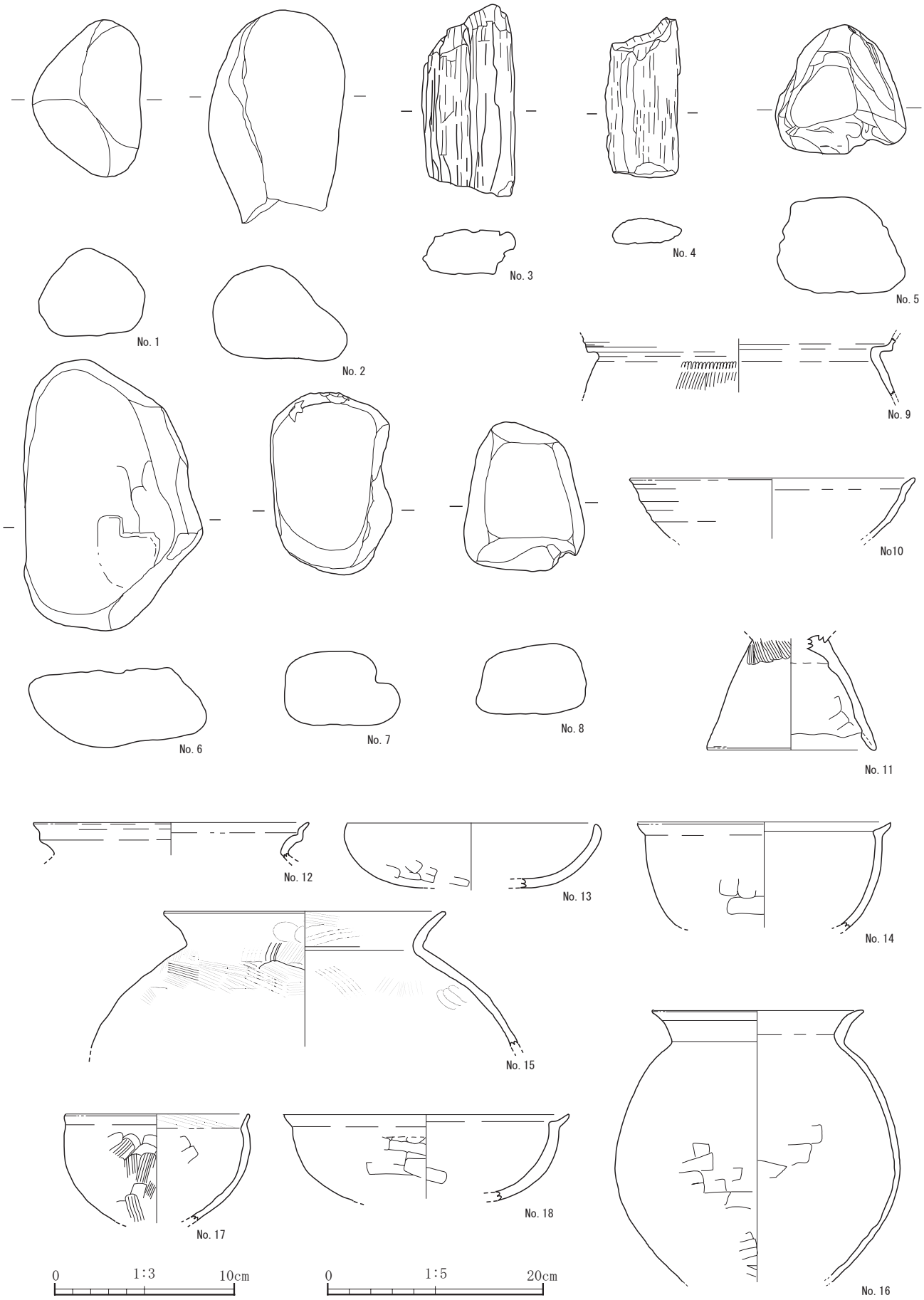


第14図　13区２面11～13トレンチ、14区１面、２面14トレンチ実測図

第26表　出土遺物観察表

遺物番号	台帳番号	器種	法量(cm)	①胎土②焼成③色調④残存	器形の特徴、成・整形方法	実測図	図版
1	9区1面S－1	石	長さ14.4 幅10.0 厚さ8.1 重さ1,480ｇ④完形、安山岩、水田面の石			15	11
2	10区A 1面 S－2	石	長さ19.8 幅12.0 厚さ8.9 重さ2,420ｇ④一部欠、安山岩、2面使用か、畦畔上の石			15	11
3	10区C 1面 S－3	石	長さ13.0 幅8.6 厚さ4.2 重さ920ｇ④両端欠、剝離、結晶片岩、大畦畔上の石			15	11
4	10区C 1面 S－1	石	長さ14.8 幅7.0厚さ2.5 重さ360ｇ④両端欠、結晶片岩、水田面の石			15	11
5	10区D 1面 S－5	石	長さ12.0 幅12.2 厚さ9.0 重さ1,480ｇ④完形、玄武岩、畦畔上の石			15	11
6	10区D 1面 S－4	石	長さ25.2 幅16.6厚さ7.5 重さ4,200ｇ④一部剝離ほぼ完形、安山岩、畦畔上の石			15	11
7	10区D 1面 S－6	石	長さ16.9 幅11.2 厚さ7.0 重さ2,220ｇ④完形、安山岩、3面使用か、畦畔上の石			15	12
8	14区1面S－1	石	長さ13.7 幅11.2厚さ6.6 重さ1,580ｇ④ほぼ完形、安山岩、推定畦畔上の石、2面使用か			15	12
9	10区A 1面 W—10一括	甕	③[3.0]	①細粒、白色粒②良好、酸化③7.5YR6/3にぶい褐④口縁～肩部片	土師器、S字状口縁、外面口縁部ヨコナデ肩部ハケ目、内面ナデ、4世紀中～後半	15	12
10	10区B 1面 W－7一括	埦	①(16.0) ③[3.3]	①細粒、白色粒②良好、還元③N6/灰④口縁片	須恵器、口縁部短く外反、体部内湾して外傾、ロクロ、9世紀後半	15	12
11	11区A 2面 5トレX280、Y118グ№1	台付甕台部	②(9.4) ③[6.4]	①細粒、白色粒、石英②良好、酸化③7.5YR7/3にぶい橙④台部3/4強	土師器、外面、台部上位にハケ目、内面、裾折り返し、ナデ、4世紀後半	15	12
12	12区9トレ2面 P－4№1	甕	①(15.4) ③[1.9]	①細・中粒、白色粒、②良好、酸化③7.5YR6/3にぶい褐④口縁片	土師器、口縁部S字状、内外面ヨコナデ、4世紀後半	15	12
13	12区9トレ2面 P－6№1	坏	①(14.0) ③[3.6]	①細粒、白色粒②良好、酸化③7.5YR5/6明赤褐④口縁～体部片1/4	土師器、体部～口縁にかけて丸味を持つ、外面ヘラ削り後ナデ、内面ナデ、8世紀代	15	12
14	12区9トレ2面 D－1№8	埦	①(14.2) ③[6.0]	①細粒、白色粒、黒色粒②良好、酸化③2.5YR5/6明赤褐④口縁～体部片	土師器、口縁部短く外反、体部丸味を持つ、外面口縁部ヨコナデ、体部ヘラ削り後ナデ、内面口縁部ヨコナデ、体部ナデ、5世紀代	15	12
15	12区9トレ2面 D－1№11・D－2№1	甕	①(15.7) ③[7.6]	①細・中粒、白色粒、石英、②良好、酸化③7.5YR7/4にぶい橙④口縁～胴部上位1/2弱	土師器、口縁部「く」の字状、胴部丸味を持つ、外面口縁部ヨコナデ、指押え、頸部～胴部粗いタテ、ナナメハケ目、内面口縁部ヨコ粗いハケ目、ナデ、頸部～胴部粗いハケ目、ナデ、指押え、4世紀後～5世紀代	15	12
16	12区9トレ2面 D－1№13	甕	①(19.6) ③[25.3] ④(26.5)	①細粒、白色粒②良好、酸化③5 YR5/4にぶい赤褐④口縁～胴部1/3強	土師器、口縁部「く」の字状に外反、胴部緩やかに丸味を持つ、外面口縁部ヨコナデ、胴部ヘラ削り後ナデ、内面口縁部ヨコナデ、胴部ナデ、5世紀代	15	12
17	12区9トレ2面 D－2一括	埦か	①(10.4) ③[6.0]	①細粒、白色粒②良好、酸化③7.5YR7/2明褐灰④口縁～体部片	土師器、口縁部直立気味に外反、体部丸味を持つ、外面口縁部ヨコナデ、体部ハケ目、内面口縁部粗いナナメハケ目、体部ナデ、4世紀～5世紀代	15	12
18	12区9トレ2面 一括	坏	①(16.0) ③[4.8]	①細粒、石英、白色粒②良好、酸化③5YR5/4にぶい赤褐④口縁～体部1/5弱い	土師器、口縁部短く外反、頸部の屈曲は強い、体部丸味を持つ、外面口縁部ヨコナデ、体部ヘラ削り後ナデ、内面口縁部ヨコナデ、体部ナデ、5世紀末～6世紀前	15	12

注）法量は①口径②底径③器高、④胴部最大径、(　)は推定、[　]は現存値を各径はcm、遺物番号は報告書番号で9区から14区まで通し番号、台帳番号は調査出土位置、Dは土坑、Pはピット、Wは溝、Sは石、グはグリッドを表す。
胎土は、細粒(0.9㎜以下)、中粒(1.0～1.9㎜)、粗粒(2.0㎜以上)とし、特徴的な鉱物が入る場合に鉱物名等を記載した。焼成は、極良、良好、不良の三段階とした。



第15図　９区～12区、14区１・２面出土遺物　　№1～8・16 ⅕　№9～15・17・18 ⅓

Ⅶ　ま　と　め

1　浅間Ｂテフラ下の水田と条里制について

前橋市台地の周辺では、大規模開発に伴い多くの古代水田の発掘調査が行われ、各時代ごとの水田跡が検出されている。その中で平安時代の水田跡は、律令制下の土地区画制度に基づく条里制があったことを裏付ける資料とされている。本遺跡を含め、浅間Ｂテフラ下の水田跡は周辺遺跡の南部拠点地区遺跡群№1・２（市調査団）、西田遺跡、村中遺跡、下阿内壱町畑遺跡、下阿内前田遺跡（県事業団調査、以下「県調査」とする）などで検出されており、広範囲で確認されている。この時期の水田には条里制の土地割りを残している状況が考えられている。このため、水田の様相や地割り形態などの点について、周辺で検出された浅間Ｂテフラ下水田区画の大畦畔で１町方格（１町約109m）四方の条里地割図上や内部形態の長地型、半折型について本遺跡検出の大畦畔も含めて見ていきたい。

本遺跡の浅間Ｂテフラ下水田跡は、隣接する南部拠点地区遺跡群№1・２（市調査団）、下阿内壱町畑遺跡、下阿内前田遺跡（県調査）の調査で検出したAs-B水田と同じであり、県調査では大畦畔（坪境畦畔）５本（１・３・４・７・８号大畦）と７本の大畦畔推定ライン上には中世、近世～近代の溝等が確認されている。

また、南部拠点地区遺跡群№２の７・８区でも南北方向の大畦畔が１本検出されている。本遺跡の水田については、１面９区13面、10区66面、11区31面、12区８トレ内10面、14区15面の全体で計135面（一部検出を含む）を検出した。Ｂ水田面を覆う浅間Ｂテフラ層（基本土層Ⅳ）は２～８㎝程の堆積が見られるが、12区９トレ内の一部微高地範囲や11区Ａ調査区では、圃場整備のさいに削られたり、耕作機械により攪乱され、浅間Ｂテフラ層が耕作土にすき込まれている所もある。さらに圃場整備等で区画整備されているためか、現耕作土からＢ水田面までの堆積土層は浅い。水田区画の状態は、畦畔と水田面との比高差が0.5～９㎝と小さく、不明な区画もある。また、道路部分の調査のため、東西の長さに比べ南北は幅が狭く、完全に１区画の面積を計測できるものは少ない。その中で１区画を測れる水田は全体で５面検出され、最小10区Ａの22号水田で25.59㎡、最大10区Ａの７号水田で106.16㎡などがあり、区画の大きさに変化が見られる。また、大畦畔は部分検出であるが、調査区９区１面（座標Ｘ36,754.00m、Ｙ－65,837.00m）、10区Ａ１面（座標Ｘ37,048.00m、Ｙ－66,286.00m）・Ｃ（座標Ｘ37,052.00m、Ｙ－66,175.00m）・Ｄ（座標Ｘ37,054.00、Ｙ－66,064.00m）、11区Ｂ１面（座標Ｘ36,829.00m、Ｙ－66,170.00m）・Ｃ（座標Ｘ36,833.00m、Ｙ－66,059.00m）などの位置で、南北方向の大畦畔が計６本検出された。その畦畔位置を南北方向の条里区画割りに当てはめると、大畦畔から次の大畦畔までは、109m前後を測る。規模は全体で上幅［30］～281㎝、下幅［47～341］㎝で高さ１～９㎝を測り、他の小畦畔と比べ規模が異なることがわかる。また、中央に小規模な溝があるのが特徴で小溝は、上幅25～116㎝、下幅９～59㎝、深さ２～10㎝を測る。その現況は、本遺跡で検出した南北方向の大畦畔を座標の磁北に合わせると、Ｎ－２°－Ｗとなり２°西に傾く傾向が示され、他の、県調査などの大畦畔にもほぼ符号する。また、大畦畔区画内を区割りする小畦畔間隔については、東西方向では、斜め方向や曲線を描くものが多く見られ、南北方向では、調査範囲の関係で短いが、比較的直線状に延びる状況が見られる。その中で、東西方向では10区７・49・61号水田の北側畦畔で、18.10m～20.29m、11区24号水田の北側畦畔で、18.59mを測るものがあり、12間（21.8m）に近い畦畔も見られた。また、周辺の調査で見られる水田区画からは、東西方向を区画する南北方向畦畔の間隔は細分された状態で比較的短いものが見られ、東西方向畦畔では、南北方向に比べ長い傾向が見られることで、東西に細長い区画が推測される。条里制区画が薄れた状況であるが、半折型に近い区画があつたことが

推測される。また、本遺跡の９区、10区Ｄ、11区Ｂ内の大畦畔には南北方向の中世、近世～近代と思われる溝と重複しており、南部拠点地区遺跡群№２の７・８区南側のＷ―３号溝も同じ状況が見られる。さらに東西方向では、県調査の11号大畦畔推定ライン上に確認された中世、近世～近代の溝（下阿内前田遺跡の１号溝・２ａ・２ｂ号溝）が構築されている状況などは、方向が異なるもののともに類似しており、検出した大畦畔や県調査の推定大畦畔ラインの位置には、後世で溝が作られたことが推測される。水口については、畦畔と水田面との比高差から見て低い畦畔が多い中で、10区Ａで１ヵ所、11区Ｂで２ヵ所の計３ヵ所を検出した。流水方向は北、西からで水田面の比高差と同じである。さらに水田面には、凹凸面や足跡等の痕跡が見られ、その中で９区１面からは、南北方向に馬の足跡列が検出された。その大きさは、径15～16㎝、幅10～11㎝、深さ３～５㎝の跡が残る。また、水田に引水するための水路等は、浅間Ｂテフラで埋まった数条の溝が検出されたが部分検出のため状況のみの記載であり、調査区全体で、標高差に限って見ると、北西側の12区１面８トレの１号水田で標高77.95ｍ、南東側の14区15号水田で標高75.63ｍを測り、さらに東側の９区11号水田で標高75.09ｍとなり全体に、北西側12区から南東方向14区へ配水し、さらに東側の９区へと流れたことが推測できる。また、河川からの引水については、調査区東側に位置する端気川、藤川等からが推測される。

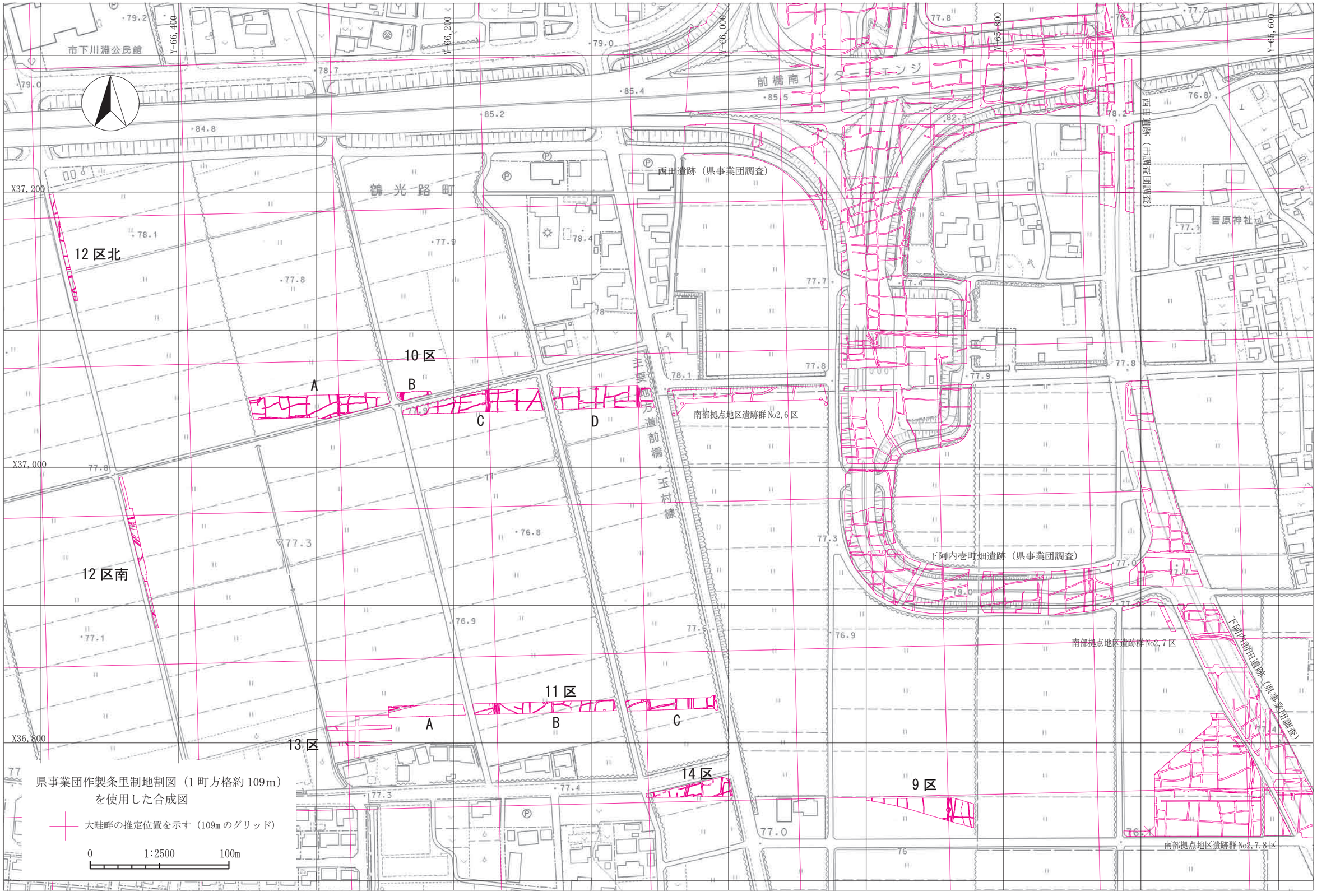
これらの状況を本遺跡や南部拠点地区遺跡群№２の大畦畔検出位置と県調査の大畦畔検出発掘成果図等にいれて示すと、第16図水田と条里制地割図の様な結果となった。

２　畦畔上の石について

９区で２ヵ所、10区で６ヵ所、14区３ヵ所の１面で、計11個の石を検出した。その中で畦畔上の置き石は７個で、１個は（№３）大畦畔上で検出した。また、水田面からは、４個（№1、４、他２点）の検出があった。それらの状況は、畦畔の交差部分でなく畦畔の端に位置し、大畦畔でも同様であった。規模は長さ12.0㎝～25.2㎝、幅7.0㎝～16.6㎝、重さ920ｇ～4,200ｇを測り、形状は楕円や不定形で石材は、安山岩や剝離した結晶片岩等である。また、置き石の目的を推測すると、目標的な意味合いが考えられ、区画の境を決めるなどに使用した石と思われ、耕作地の所有関係を明示するなどの目的が考えられる。本調査区では、畦畔交差部からの検出はなく、状況のみの報告とする。

参考文献

西田遺跡　1996　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
宮地中田遺跡　1997　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
西田Ⅱ遺跡　1998　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
西田Ⅲ遺跡　1999　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
西田Ⅳ遺跡　1999　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
鶴光路練引遺跡　1997　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
下阿内壱町畑遺跡　2001　財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
下阿内前田遺跡　2001　財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
村中遺跡　2002　財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
西田遺跡　2002　財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
南部拠点地区遺跡群№２　2009　前橋市埋蔵文化財発掘調査



第16図　水田と条里制地割図

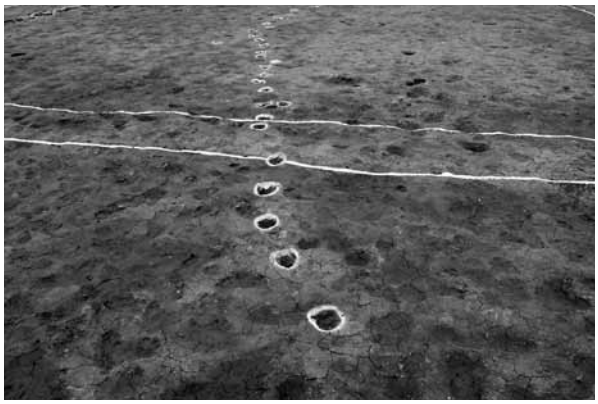
調査前全景（北西から）

調査前全景（西から）

９区１面Ｂ水田全景（空撮）

９区１面Ｂ水田全景（東から）

９区１面畦畔上の石



９区１面馬の足跡列（南から）

９区１面 W－１～３、焼夷弾跡、大畦畔全景（北から）

図版２

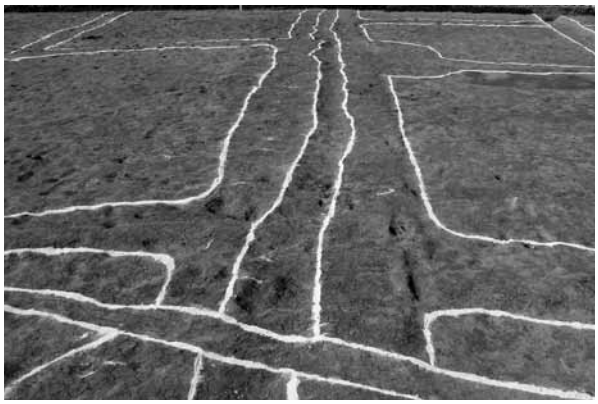
９区２面 W―１全景（北から）

９区２面１トレンチ全景（西から）

10区Ａ１面Ｂ水田全景（空撮）

10区Ａ１面Ｂ水田全景（西から）

10区Ａ１面Ｂ水田全景（東から）



10区Ａ１面大畦畔全景（南から）

10区Ａ１面畦畔上の石

10区Ａ１面 W―４・５全景（西から）

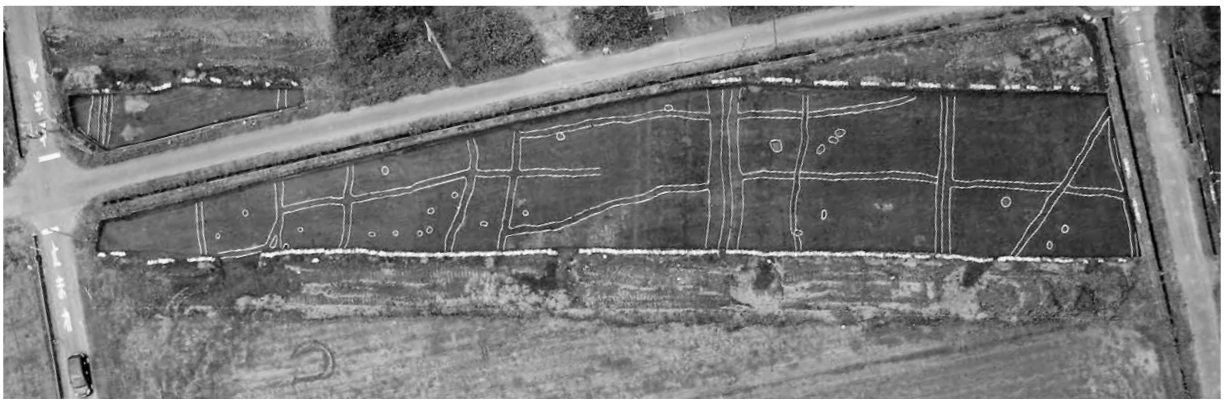
10区Ａ２面２トレンチＰ―５～10全景（西から）

10区Ａ２面２トレンチ全景（西から）

10区Ｂ１面Ｂ水田全景（西から）

10区Ｂ１面 W―６～８全景（南から）

10区Ｂ２面３トレンチ全景（西から）

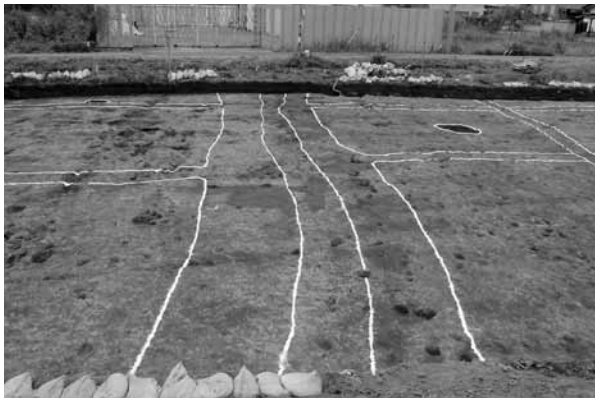


10区Ｂ・Ｃ１面Ｂ水田全景（空撮）

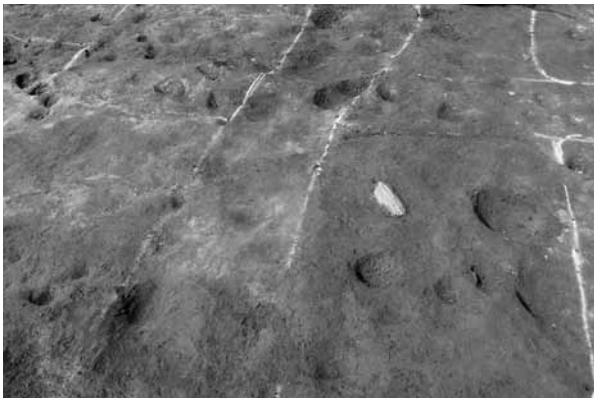
図版４

10区Ｃ１面Ｂ水田全景（西から）

10区Ｃ１面Ｂ水田全景（東から）



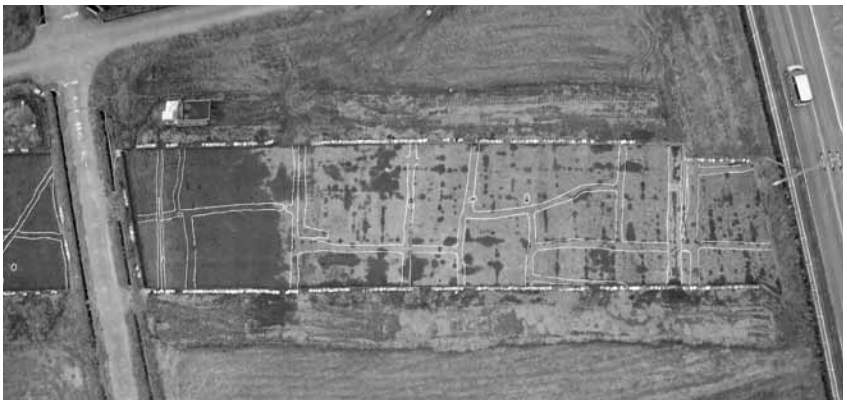
10区Ｃ１面大畦畔全景（南から）



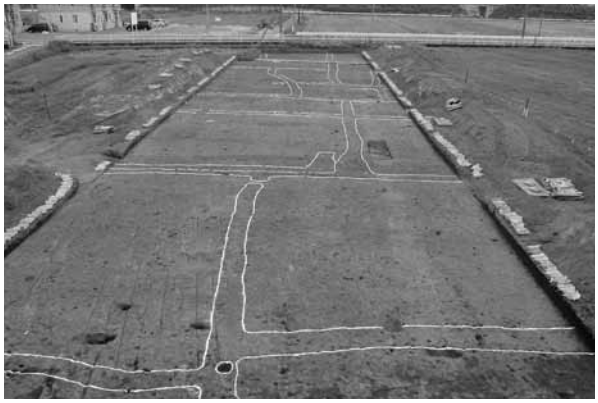
10区Ｃ１面大畦畔上の石全景（東から）

10区Ｃ１面 W―14、ピット全景（南から）

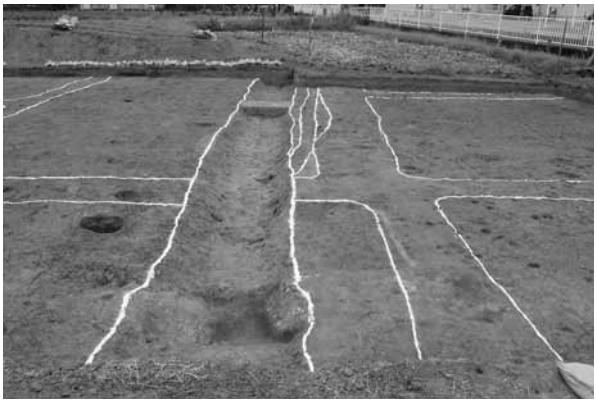
10区Ｃ２面４トレンチ全景（東から）



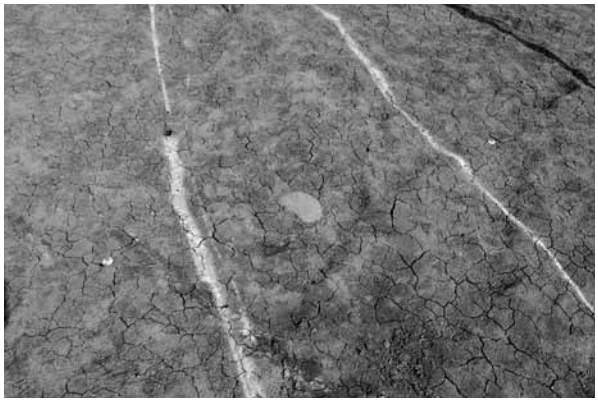
10区Ｄ１面全景（空撮）



10区Ｄ１面Ｂ水田全景（西から）



10区Ｄ１面 W―18、19、大畦畔全景（南から）



10区Ｄ１面畦畔上の石全景（西から）

10区Ｄ１面水口全景（南から）

11区Ａ１面Ｂ水田全景（空撮）

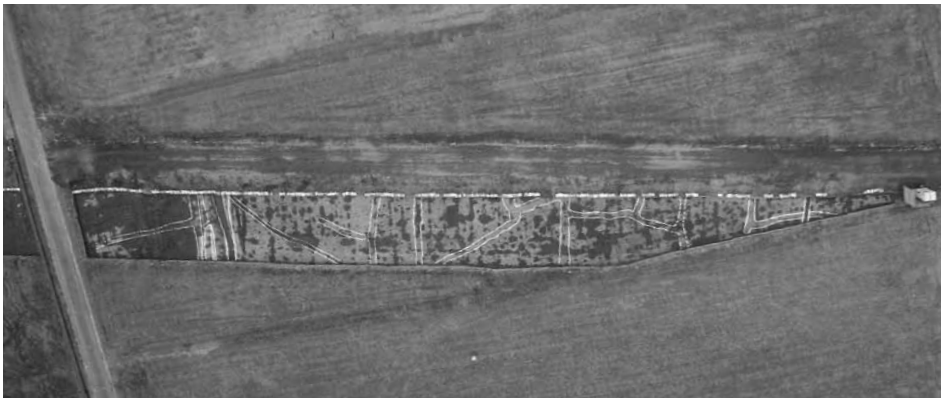
11区Ａ１面 W―１、畦畔全景（西から）

11区Ａ２面５トレンチ全景（東から）

図版６

11区Ａ２面５トレンチ Ｗ―11全景（北から）

11区Ｂ１面カクラン状況全景（北から）

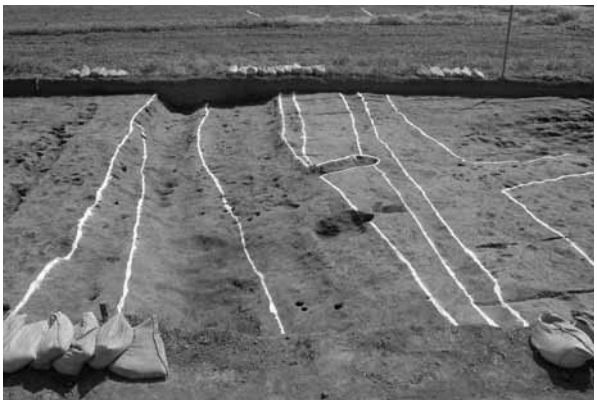


11区Ｂ１面Ｂ水田全景（空撮）

11区Ｂ１面Ｂ水田全景（東から）

11区Ｂ１面 Ｗ－２、大畦畔全景（北から）

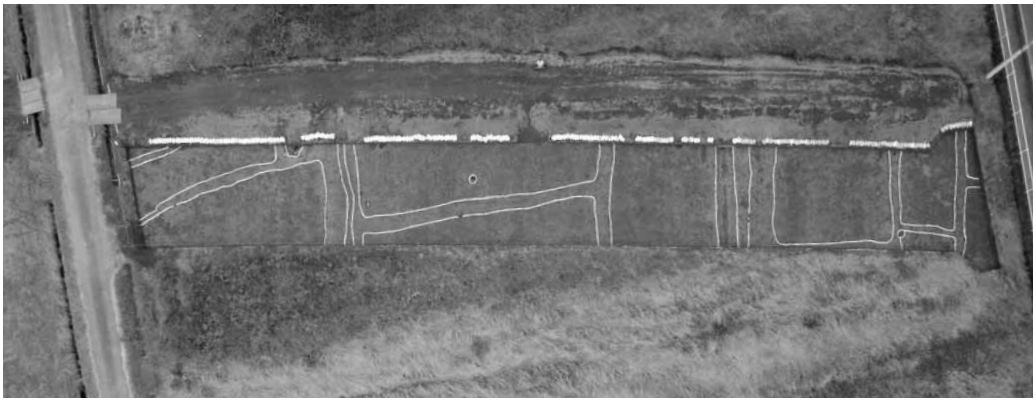
11区Ｂ１面水口№１全景（南から）



11区Ｂ１面 Ｗ－２～５全景（北から）

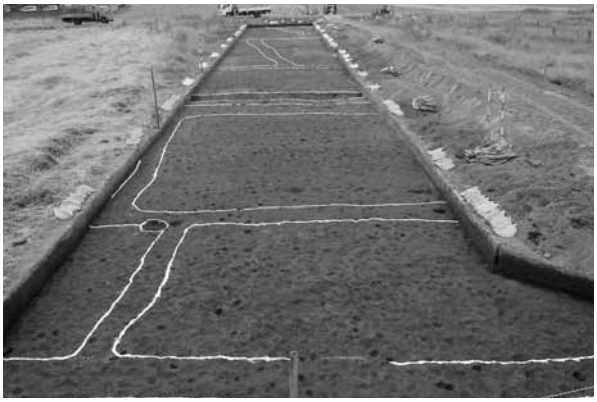
11区Ｂ１面 W－６全景（北西から）

11区Ｂ２面６トレンチ全景（西から）



11区Ｃ１面Ｂ水田全景（空撮）

11区Ｃ１面Ｂ水田全景（西から）

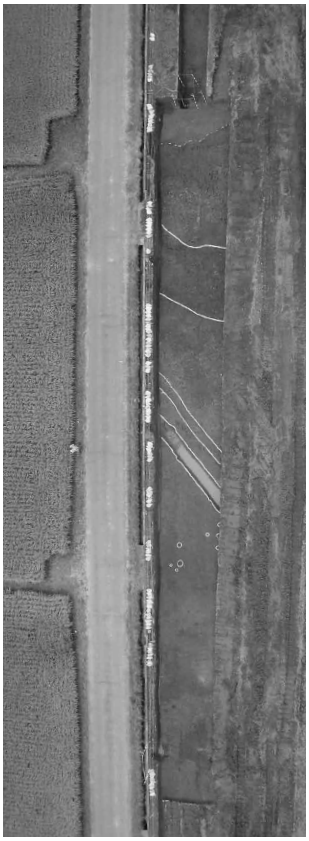


11区Ｃ１面Ｂ水田全景（東から）

11区Ｃ１面大畦畔全景（北から）

11区Ｃ２面７トレンチ全景（東から）

図版８



12区１面全景（空撮）

12区１面全景（北から）

12区１面凹凸状況全景（北西から）

12区１面 W―２、３全景（東から）

12区１面谷地状の落ち込み全景（西から）

12区１面８トレンチ全景（北から）

12区１面８トレンチ全景（南から）

12区２面８トレンチ全景（南から）

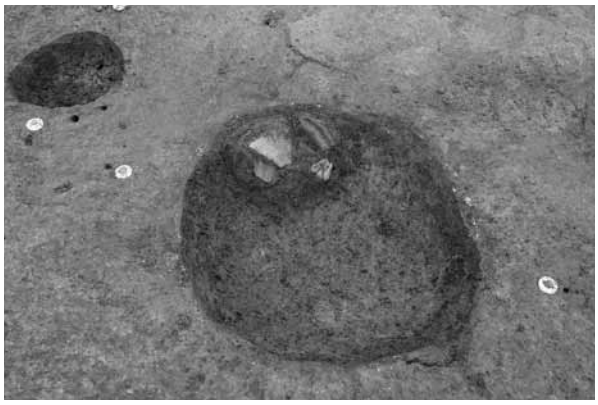
12区２面９トレンチ落ち込みセクション全景（南から）

12区２面９トレンチ全景（北から）

12区２面９トレンチD－１、２、P－４、６全景（南から）

12区２面９トレンチD－１遺物出土状況全景

12区２面９トレンチD－２遺物出土状況全景


12区２面９トレンチP－４遺物出土状況全景

13区２面11トレンチ全景（北から）

図版 10

13区２面12トレ全景（東から）

13区２面13トレ全景（東から）

14区１面Ｂ水田全景（空撮）

14区１面Ｂ水田全景（西から）

14区１面Ｂ水田全景（東から）

14区１面 W―２、３全景（北から）

14区２面14トレンチ全景（東から）

深掘りセクション（10区Ａ）

作業風景（10区Ａ）

調査区埋め戻し状況11区Ａ（東から）

1

2

3

4

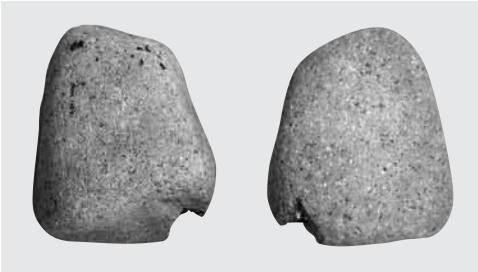
5

6

９区、10区出土遺物

図版12

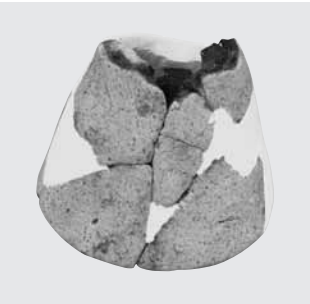
7



8

9

10

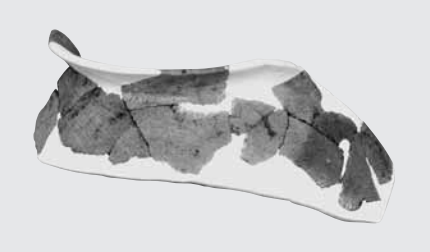


11

12

13

14



15

16

17

18

10区～ 12区、14区出土遺物

抄　録

フリガナ	ナンブキョテンチクイセキグンナンバー3
書名	南部拠点地区遺跡群№3
副書名	前橋市南部拠点東地区土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書№3
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	神宮　聡（前橋市埋蔵文化財発掘調査団） 荻野　博巳・金子　正人（スナガ環境測設株式会社）
編集機関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団
編集機関所在地	〒371-0018　群馬県前橋市三俣町二丁目10-2
発行年月日	西暦2010年3月19日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
南部拠点地区 遺跡群№3 （ナンブキョテンチク イセキグンナンバー3）	前橋市鶴光路町112-2ほか （マエバシシツルコウジマチ）	10201	21G65	36°19′53″	139°05′45″	20090721 ～ 20100319	10,140㎡	前橋市南部拠点東地区土地区画整理事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
南部拠点地区 遺跡群№3	水田跡	古墳時代 平安時代 中・近世 近代	土坑2基、ピット18基、溝4条 As-B下水田　溝15条、土坑1基、ピット3基 土坑1基、ピット42基、溝30条 焼夷弾跡1ヵ所	土師器 土師器、須恵器片、石、陶器、磁器片	As-B下水田 大畦畔

前橋市南部拠点東地区土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書№3

南部拠点地区遺跡群№3（21G65）

2010年3月12日　印刷
2010年3月19日　発行

発　行　前橋市埋蔵文化財発掘調査団
前橋市三俣町二丁目10-2
TEL　027-231-9531

編　集　スナガ環境測設株式会社

印　刷　朝日印刷工業株式会社